

MS NO.07

MS大図鑑
[PART.7] デラース紛争編



MOBILE SUIT GUNDAM 0093
LAST ELITE OF 99TH





機動戦士ガンダム
MS大図鑑
PART.7
【デラース紛争編 下】

Illustration by Yuji Kaida

【第7章 デラーズ紛争(続)】

イラスト／武半信吾

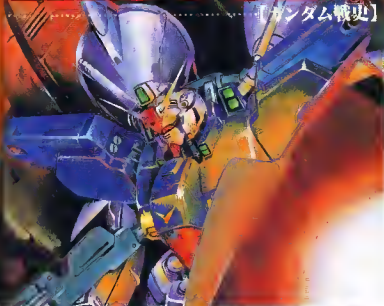
海兵であるシーマ部隊の戦力は弱く、その艦隊に押し返され、その機動隊のスピードを上げることが、それが戦の主要な目的の戦術となっていました。



をコーディネートしたアルビオンはそれを前線と判断、バニング以下3機のMSを攻撃に向かわせる。コウは、フルバニオンを駆り、因縁浅からぬシーマ連のMS部隊との戦場に入る。戦場の最中、バニングは大破した戦艦から、星の局作戦の概要を記した計画書を手に入れる。機動途中、計画書の内容を確認したバニングは、その恐ろべき最終目標を知る。しかし、破壊した場所が爆発、バニング機は誘導を起して消えた。悲しみの消えぬままアルビオンは次の行動に移らなければならぬ。MS部隊の運用に支援を求むため、作戦行動中の艦長特種により、アルファA・ベイトとコウの艦級は戦時艦級により一階級あげられた。

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



1. 策謀の宙威

「シュート・ダウン」

アルビオンは、コンペイ島(旧称ソロモン)で行なわれる連邦の宇宙艦隊総動員に向かっていた。軍上層部は、艦隊を誘引することにより、反抗勢力に威圧を与えようとしたのである。途上、バニングを中心に、コウ、キースの訓練飛行が行なわれる。フルバニオンの性能を十二分に引き出し、コウは、初めてバニングに勝利する。若者の成長を喜ぶとともに、バニングはどうしようもない身体の不調を感じていた。同じ頃、シーマ・ガラハウの艦隊と、連邦の艦隊である艦隊バニングが空襲に接戦しようとしていた。シーマの艦隊

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】

2号機に搭載された核弾頭の威力は、戦艦級をも破壊する。被害を受けた連邦の機体から、今は連邦の拠点となったジオの要塞へその破壊が放射された。



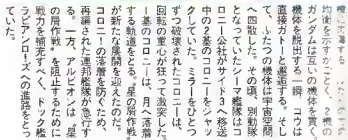
を伝えた。ワットは、その凄慢な内容に唖然とする。あらたに闘志を奮い立たせたガトーは、機体を攻撃ポイントへと向けた。配下の機体は、騒動へと向かう。一方コウたちは、飽くことなく現れる敵に苦戦していた。修理の様相を呈する戦場とは裏腹に、観艦式は壮大に続けられていた。ガトーは、一年戦争時のソロモン戦の残骸の間を縫って一歩一歩確実にコンペイ島へと接近しつつあった。だが、設置してあった自動砲台に発見されてしまう。2号機に集中する砲撃。陸伴していた僚機が援護する間、ガトーは2号機を狙撃ポイントへ駆る。2号機発射の音を聞いたコウは、フルバードニアを加速させた。核砲弾発射前に2号機を捉えることができるか。

ソロモン・ユリア

2. 悪夢、再び

観艦式を前にして、それを妨害しようとするジオン残党の動きが激しくなっていた。哨戒任務にあるアルビオンのMS隊のコウたちは、迎撃のためほとんど休む暇もなかった。地球周回上主力艦隊船のほとんどを集めて観艦式は開始された。その威容に連邦軍司令部はかなり状況を樂觀視していたが、地球の防衛網をほとんどまるはだか状態にしたことにシナプス艦長は不安を感じずにいらなかった。その頃、ガトーは核装備をした2号機を駆り、配下のMS部隊を従えてコンペイ島へと出撃していた。観艦式指揮官であるワイアット大將の演説

ガシ、赤谷同士の異常な戦いにも終
止符が打たれる。その異常さを象
徴するかのように、互いを買った
様は、一瞬映像のようにその姿を
宇宙に刻みつけた。

[illegible]

3

大輪の花を咲かせるかのような形状を持つラビアンローズ。その花は、宇宙に散っていった人々の代償によって色づき開いていく。あかのような華やかさを広げる。

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



4. 決戦の地に向けて 「ラビアンローズ」

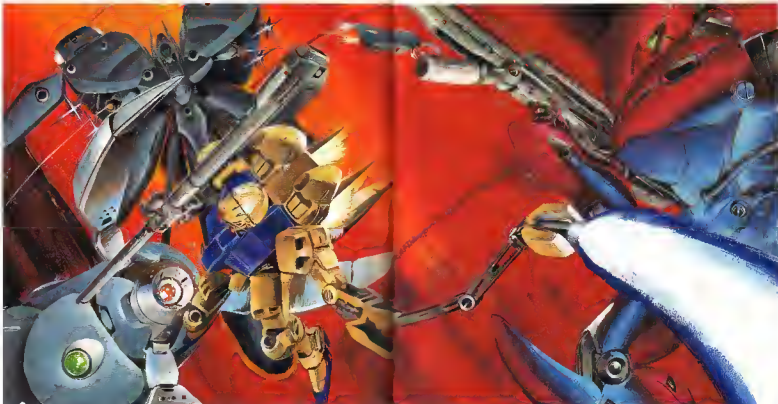
ドック艦ラビアンローズは、アナハイム所有の最大の船であり、宇宙艦の修理、整備能力を持っている。今、この艦はGPシリーズの試作3号機のテストベースとなっている。アルビオンは、試作3号機を戦力補充のために受領しようとするが、待ち受けていたナカト少佐よりデラズ・フリード追撃の任務解除を告げられる。その頃、ガトールは、アクシズの先遣隊から試作MAノイエ・ジールを受け取っていた。ノイエ・ジールを廻り、ガトールは連邦の追撃艦隊を迎撃に向かう。そして、月に向かっていったコロニーは、デラズ・フリードとアナハ

イムの要約により、自室からのイグニッション・レーザーを受け軌道を変更され地球に向かい始めた。追撃艦隊も、ガトールの攻撃と推進剤切れにより、一隻また一隻と脱落していく。コロニーの軌道変更を知ったコウは、開発担当のルセツトの協力を得て、誘引に3号機を動かそうとする。しかし、それはナカトの知る所となり、ルセツトは凶弾に倒れる。駆けつけたシナプス以下乗組員によりナカトたちは取り押さえられ、3号機はアルビオンへと移された。コロニーの地球への落下を防ぐため、コウは3号機をノイエ・ジールを廻るガトールの待つ空域へと発進させる。星の屑作戦の成否を懸け、デラズ・フリードとの決戦が今始まろうとしている。

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】

地球の防衛に貢献を上げることで、
子孫の誇りや、強大な力を手にした
作戦たちがあふれかたります。しかし、
それらの防衛が実現したあとも、
地球の防衛に貢献を上げることは
ない。



この戦い（ヘル）は、
らの利益のために進んだことを
をも辞さないシマ・ガラハ
ワ、そして戦士へと成長した
コウ・ウラキ、コロニー落下
の瞬間が刻一刻と近づく中、
三番それぞれ思いを込めて
三回の決戦が始まる。ソー
ラ・システムIIの集める光の
エネルギーは、そんな思いを
意にも解さずその宙域にある
物質を酸、味方を問わず焼き
尽くそうとするかのように焦
争を激化させていた。1年戦
争後最大の嵐となった。星の
層作戦、を巡る攻防戦が終わ
りを行き止まりとして。コロ
ニーは、地球へと落下し、
かつての悪夢を繰り返すのか。
戦いの中、まだ戦士たちが星
の屑として消えていくのか。
最大の暴風が吹き荒れ始めて
いる。

5. 駆け抜ける嵐

「リミット・ポイント」

宇宙世紀0083年11月12
日、地球へのコロニー落とし
を目指す「星の層作戦」は、
まさにその序盤を迎えていた。
コロニー落下阻止の競争時間
は19時34分、落下を完了しよ
うとするデラース・フリート
と、それを防ぐとするアル
ビオンの間で死力を尽くした
攻防が続いていた。だが、シ
ーマと草土郎の極右派の間
で汚い密約がわかれていた。
それは、戦場で戦っている戦
士たちにとって決定的な裏切
り行為だった。両者の指揮系
統を持さえた極右派は、ソー
ラ・システムIIをコロニー破
壊のために軌道下に配置する
デラースの理想を実現しよう

RX-78GP03
ガンダム試作3号機

デンドロビウム

頭部

- ①宇宙用攻撃型試作機動兵器
- ②連邦軍
- ③コウ・ウラキ
- ④1/144 (ステイメン)

デンドロビウム
ステイメン



XGC-83
ジム・キャノンⅡ

シールド表

シールド裏

- ①汎用中距離支援型量産MS
- ②連邦軍
- ③チャックキース他
- ④ジム・キャノンの改良機

RGM-79N
ジム・カスタム

ビームライフル

足裏

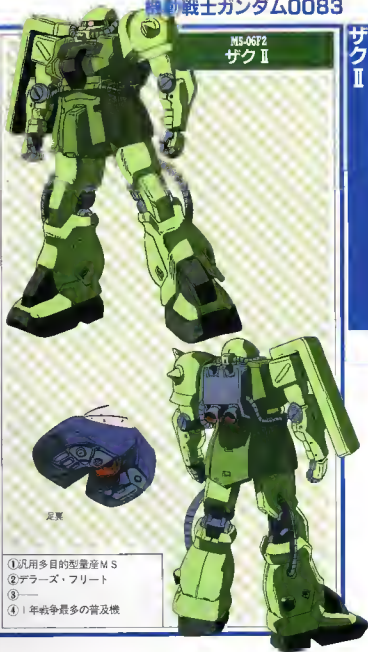
- ①汎用多目的型量産MS
(特殊仕様) ②連邦軍
- ③サウス・バニング他
- ④ジムを元に改良した量産機

MS-21C
ドラッツェ



- ①宇宙用攻撃型量産MS
- ②デラーズ・フリート
- ③——
- ④宇宙戦専用の機体

MS-06F2
ザクⅡ



- ①汎用多目的型量産MS
- ②デラーズ・フリート
- ③——
- ④1年戦争最多の普及機

MS-14F
ゲルググM

- ①宇宙用戦闘型量産MS
②デラーズ・フリート
③——
④ゲルググの強化改良型

MS-14F's
ゲルググM指揮官用

- ①宇宙用戦闘型量産MS
(特殊仕様) ②デラーズ・フリート
③シーマ・ガラハウ他
④ゲルググの強化改良型

AGX-04

ガーベラ・テトラ



- ①汎用強襲型試作MS
- ②デラーズ・フリート
- ③シーマ・ガラハウ
- ④1/144

MS-09RⅡ

リック・ドムⅡ



- ①汎用攻撃型量産MS
- ②デラーズ・フリート
- ③カリウス軍用他
- ④リック・ドムの改良機

● 0083メカ名鑑 ●

FF-XI-Fb コアファイター II-Fb



- ①小笠原特殊戦術機
- ②連邦軍
- ③コア・ブロックに変形し、GP01-Fbの操縦システムとなる。1号機の改良とともに換装され、同様に宇宙戦仕様となった。

進歩型強襲艦 アルビオン



- ①強襲揚陸艦
- ②連邦軍
- ③就航したペガサス級の新型艦。数々の新装備を搭載。新型ガンダムのテスト運用の母艦となる予定だった。

連用宇宙巡洋艦 サラミス級



- ①巡洋艦
- ②連邦軍
- ③1年戦争時に使用されていたサラミス級巡洋艦を改良したもの。特に、火力関係が強化されている。旧型にかわり実戦配備中。

連用宇宙強襲艦 ペガサス級



- ①強襲揚陸艦
- ②連邦軍
- ③MSの運用を基本として設計された艦。
“木馬”と呼ばれる特殊な船体が特長。1年戦争後期から特殊任務などに使用されていた。

AMX-002/AMA-X2 ノイエ・ジール



- ①宇宙用攻撃型試作MA
- ②デラーズ・フリート
- ③アナベル・ガトー
- ④アクシズで製造された試作MA

●0083キャラクター名鑑●

コウ・ウラキ



ノーマルスーツ



- ①連邦軍
- ②少尉→中尉(戦時階級)
- ③堀川 亮

ニナ・パーブルトン



- ①アナハイム
- ②システムエンジニア
- ③佐久間レイ

機動戦士ガンダム0083

デラース宇宙巡洋艦

ムサイ級



- ①機動巡洋艦
- ②デラース・フリート
- ③1年戦争後期に生産されたムサイ級の巡洋艦。前期型に比べ、火力を中心とした強化とMSの運用面の改良が施されている。

デラース宇宙艦隊

ムサイ級シーマ艦隊仕様



- ①機動巡洋艦
- ②デラース・フリート
- ③シーマ艦隊が使用している後期生産型のムサイ級巡洋艦。艦隊色が異なる以外は、特別な仕様の違いは施されていない。

デラース宇宙機動巡洋艦

ザンジバル級リー・マルーン



- ①機動巡洋艦
- ②デラース・フリート
- ③シーマ艦隊で旗艦として使用されているザンジバル級。火力やMSの発着方法などに関して、若干の変更が施されている。

デラース宇宙艦

グワジン級グワテン



- ①戦艦
- ②デラース・フリート
- ③エギーユ・デラーズ自ら乗り組み、デラース・フリートの総旗艦となるグワジン級の戦艦。艦橋は全部隊の指令所を兼ねる。

ムサイ級→グワテン

アナベル・ガトー



- ①デラース・フリート
②少佐
③大塚明夫

シーマ・ガラハウ



- ①デラース・フリート
②中佐
③真柴福利

ウィリアム・モリス ジャクリ・マシモン ヒーター・スコット



- ①連邦軍
②少尉
③落島直樹

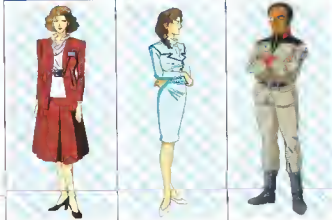
- ①連邦軍
②軍曹
③荒木香恵

- ①連邦軍
②軍曹
③菊也正美

グレン・ハクセル

ルセット・オデビー

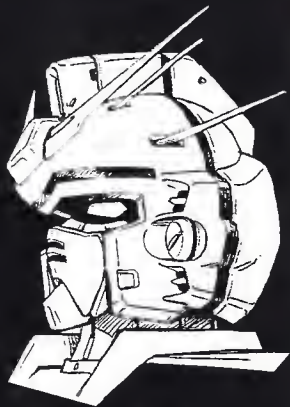
アキラ・バリス



- ①アナハイム
②ラビアンローズ所長
③一城みゆ希

- ①アナハイム
②システムエンジニア
③勝生真沙子

- ①連邦軍
②中尉
③田原アルノ



MS開発史

M. S. Development History

●第二代MSは連邦、公国の双方の技術の優劣を比較検討し、対費用効果などからもっとも高効率の機体を追及した結果生み出された。MSのスタンダードは、この時期の技術的研鑽がなければ誕生しなかっただろう。

ウィリアム・グラードル エギーユ・デラーズ



- ①デラーズ・フリード
②少佐
③新藤 実

- ①デラーズ・フリード
②中將
③小林清志

ハーマン・カーン テトロフ・コッセル



- ①アクシズ
②宰相
③新藤 良子

- ①デラーズ・フリード
②大尉
③堀川裕彦

エギーユ・デラーズ、ハーマン・カーン

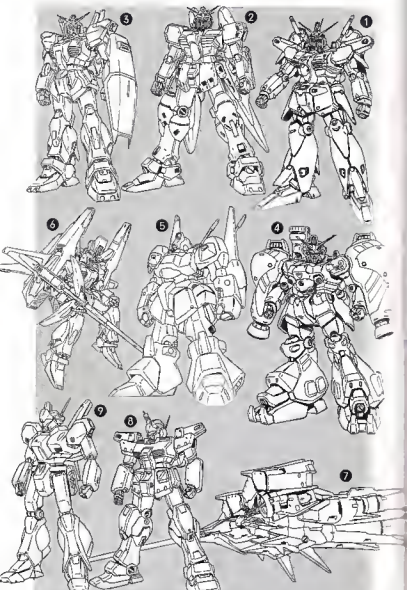
U.C.0080年代のMS①

デラース・リートの決起は、連邦軍の官能に様々な悪意を生んだ。もともと彼らは一年戦争の「戦後処理に忙殺」されてはいたが、それらの活動のうちで表层的な問題解決に結びつくものは何ひとつなく、一年戦争がいかなる受益者を生み出さない空虚な戦争であったことを認識するだけの作業だった。一年戦争が残したものは、その後、MSの開発、製造が産業として成立することを知った企業による戦時特需に類らない開発体制の確立だけだった。連邦軍や連邦政府官邸の手には、実質的にまったく新たな産業の一分野の盛衰が委ねられていくことになる。一年戦争が

宇宙世紀にもたらしたものは、MSが利益を生み出すことを立証した点に集約される。MSの有用性にいち早く着目し、終戦時最大最鋭新の開発規模を持つていたジオニック社を始めとする公団系のMS産業を吸収合併すること急成長を遂げたアナハイム・エレクトロニクス社（以下「A.E.」）が、戦後のMS開発の主導権を握るために奔走したのも、MS産業が利益を生み出すことのできる分野だったからだといえる。A.E.社は、未曾有の戦争を体験した直後の連邦軍の上層部に戦前から兵器供給企業として食い込んでいたコナクションを活かし、戦後のMS開発について連邦軍に対し一定以上のコミットを得ることに成功しており、以降のMS開発において主導的な立場を獲得することができた。連邦軍そのものも、旧公団の技術者の導くにつれて、民間企業様式のファクトリーがなかったため、立ち上がり時で遅れをとっていた。ちなみに連邦軍とA.E.社では、いわずのジオン系技術者獲得の傾向がはっきりと二分されているといわれている。A.E.では主に基本技術を含むMSの設計、建造、開発に従事する技術者を優先して採用したのに対し、連邦軍ではユニタイプ（以下「N.T.」）や生体化学技術に携わった者たちを優先していた。一般には、連

邦においては基礎研究がまったくなされていなかったN.T.に対する理解を獲得するためだったとされているが、本来は既にN.T.の軍事利用を考えていたというのが妥当なところだろう。

この当時のMS開発は、基礎技術と運用の実効性が認識された新規の兵器で、今後の戦略にいかに関与していくかという模索の時期を迎えていた。様々な戦略や戦術に柔軟に対応できたMSは、今後の軍事行動に不可欠なものであるという認識は、軍部ばかりでなく政府レベルでも認知されていた。戦後であるにもかかわらず、準戦時ともいえる体制でMS開発が行われたのも、おもねれ以上のような経緯があったためである。



● 1: R-178 G-01 - フォーガンガンダム (1) ● 2: R-178 G-02 - フォーガンガンダム (2) ● 3: R-178 G-03 - フォーガンガンダム (3) ● 4: R-178 G-04 - フォーガンガンダム (4) ● 5: R-178 G-05 - フォーガンガンダム (5) ● 6: R-178 G-06 - フォーガンガンダム (6) ● 7: R-178 G-07 - フォーガンガンダム (7) ● 8: R-178 G-08 - フォーガンガンダム (8) ● 9: R-178 G-09 - フォーガンガンダム (9) ● 10: R-178 G-10 - フォーガンガンダム (10)

U.C.0080年代のMS②

MSの開発が戦時にも増して活発化したのは、デラース・フリートなどによる一連の反地球連邦運動が今後とも活発になるだろうことが予想されたためであった。デラース抗争中に隠匿式を執り行ったことを例に引き反までもなく、連邦軍は伝統的に反抗勢力に対して示威行動を執る傾向にある。純粋に軍事的均衡と「ガンダム開発計画」は、試作2号機強襲事件などが派閥抗争に利用され、極右派の台頭を惹起する結果を招いた。戦後の和平条約などを推進した穏健派の保守勢力は、その多くがこの時点で前線部の主流からスライドされていた。

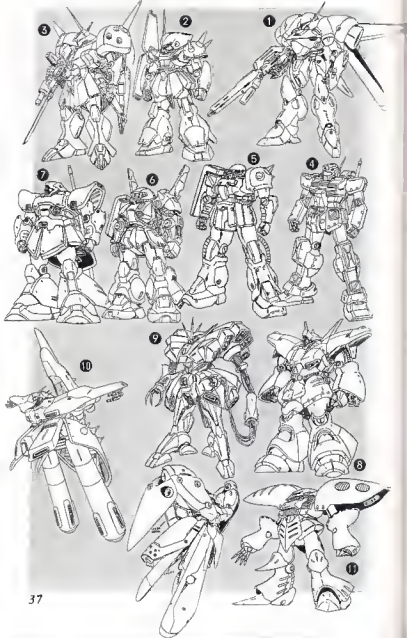
デラース抗争そのものは、公式記録からは抹消された。連邦軍が「核兵器を使用することを目的とした兵器の開発を行っていた」などというところから、少なくともこのあたりから、また、旧世紀中に、原子力発電所の災害は究極的には天災と同じであると規定した国家政府があったように、コロニー落下の責任所在も、わもやにされた。コロニーの落下を、事故。として処理するため、デラース抗争に關係する一切の公式記録は削除された。それは「ガンダム開発計画」そのものも含み、それまで行われていたMSに関する研究成果や技術そのものも封印されてしまった。このこ

とは以後、グリプス抗争時までのMS開発は完全に停滞させる原因となる。逆に、テイタンスとエウロアの抗争が激化、表面化した時点でMSの急激な進化・分化は、少なくとも、こうして封印されていた技術の露骨であったためだと考えられている。ただ、全方位・フレーム構造や、ムルバール・フレームといった、一年戦争末期には提案されていた技術の確立などは公開された。それまでに計上されていた立案に合った成果を発表する必要があったからである。

また、制限のあるなかで、MS製造の主力であるAGE社は、企業機密保持の必要もあって、極端な情報管制を伴う事業部制を採用した。二二二で、一旦融合した連邦系と公国系の技術の分化が再び始まることになる。後年、そのしていることを足が知らない。とまで言われる横溝路の悪さや非効率もここに起因している。しかし、兵器の開発に遑々たる制限が加わるのは自明のことでもある。

一方、デラース抗争で明らかになった連邦軍の派閥抗争など、地球圏の今後の提議を予見したアクシズでは、生存のための作業はほぼ完了していたこともあり、工作機械器との兼用MS以外の機体の開発が本格化していった。ことに、以後MSの建造に欠かすことのないガンタリウムガンマの開発が済んでいたことにより、アクシズの型MSの高性能化は順調に進んだ。

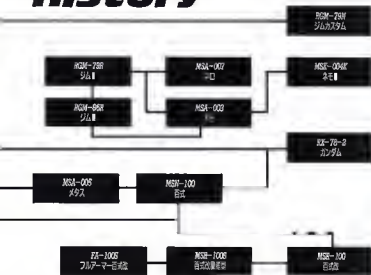
●A.D.04 ガーベラ・アトム ●M.M.188 マラサイ ●A.M.04 B・ジャム
●M.M.78 パワード・コム ●M.M.86F2 ギリム・ムル ●M.M.106 イグザル・コム
●M.M.11 リンクトム・コム ●M.M.128 マラサイ ●M.M.132 M・M
●M.M.133 A・マジョール ●A.M.04 A.M.04 A.M.04 A.M.04



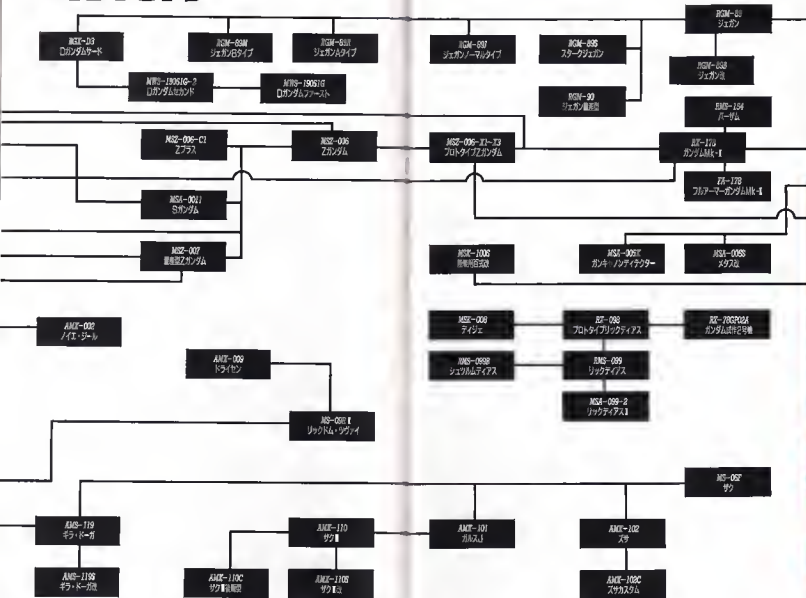
MSの開発系統

MSの開発技術に関しては、基本的にアクシズに分かっていた。MSを実用化したのはジオン公国であったし、基礎研究から周辺技術まで、総合的な環境を営み、技術的にはアクシズの方が先行していたのは事実である。しかし実際には、アクシズがネオジオンを標榜する時点でアクシズ型のトップクラスのMSに、性能の差はほとんど存在しなかった。それは、アクシズが窮乏生活を強いられていたという事実と、連邦が公国系の技術を導入したことによる相乗効果がある。しかし、ネオ・ジオンが本格的に参戦してきた時期、連邦軍はディターンズとエゥーゴによる内戦

のため戦力が疲弊、消耗しており、充分な対抗策を講じることができなかった。ともあれ、この時期のMS開発は、非常に混沌としており、いわゆる開発系統も、その機軸は非常に乖離なもので、厳密な区分けも関連づけもほとんど無意味なものだともいえる。ただし、研究機関レベルの関係や技術、機体の供与、流出、漏洩は実際にあったとされるため、すべての機体が無関係というわけでもない。また、設計、開発のレベルでは既存の機体やノウハウを参照するのは当然であり、その意味では、全ての機体は間接的であると概論することも不可能ではない。



MS Development History



MS用語辞典①

Iフィールド・サイサリス

Iフィールド (I FIELD)

ミノフスキー物理学の応用で生まれた、メガ粒子砲に使用されるメガ粒子の偏向能力を持つ一種の力場のこと。メガ粒子に対する偏向能力を持っているため、大出力で指向性を持たせずに使うとビームバリアーとして機能するが、エネルギーの消費が膨大なため長時間の使用、あるいはシステムの小型化は非常に難しい。アラート勤務 (ALERT HOUR) MSパイロットが緊急発進に即座に対応できるように待機している状態。

アンノウン (UNKNOWN)

所屬不明機のこと。しかし、戦場区域で識別番号を出していない場合は即座に敵機と見なされる。

ウィッシュボーン (WISHBONE)

MSの戦闘フォーメーションのひとつ。ただし、正規の名称ではなく、各チームそれぞれに独自に用いている言い方である。

HUD (HEAD UP DISPLAY)

モニター上、パイロットの前方視界を妨げずに数字や文字のシンボルを投影により敵機の情報などを読み取らせ

ようとするもの。

エバリーニングモニター

[EVALUATION MONITOR]
情報評価画面。GOODSの

複雑な火勢管制を統括するシステム。救急型コンビュターと連携しており、敵機情報

と機体状況分析による最適火勢選択、機体同期判断などを表示、実行する。

オーキス (ORCHIS)

①GOODSのアムド・ベーム、ユニットのコードネーム。②蘭の花のこと。

オーバーロード (OVER LORE)

必要以上のエネルギーを送り、サーベルのパワーを上げる。伝達系の過負荷に耐えるため長時間は使用できない。

迷り狼 (A DEMON CHAPRON)

ヒットアンドアウェイ攻撃をしてきた敵機に対して出す追撃機のことをあらわす隠語。

強制開放 (COMPULSORY OPEN)

MSの機体の外部からの操作により、各部のメンテナンスハッチを開けること。

552MHz (552 MHz)

アナハイムの試験機体で通常通信に使用されている周波数帯。コンペイ島での戦闘において、この周波数でコウバガートと会話をかわす。

コンパス (COMPASS)

羅針儀。電磁波などを感知することにより、方位、進路をはかる装置。ワイアット少将の機体式での演説は、通信規制を行なっていたため、ガトーの部隊はこれを傍受してコンペイ島への方位を

確認する。

サイサリス (SARSIS)

①GOODSのコードネーム。②花の名前「ほうずき」の字名。花言葉は「偽り」。



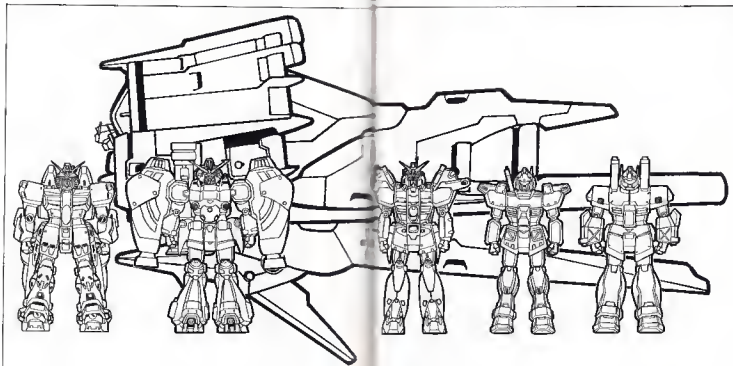
MS性能比較

An Ability-comparison of M.S.

●この時期に試作された機体の中には、スペック的には80年代後半の機種を上回るものがある。それは一種の仇花にすぎなかったが、その後のMS、MAが何を指向しているかを端的に露わしていたということもできる。

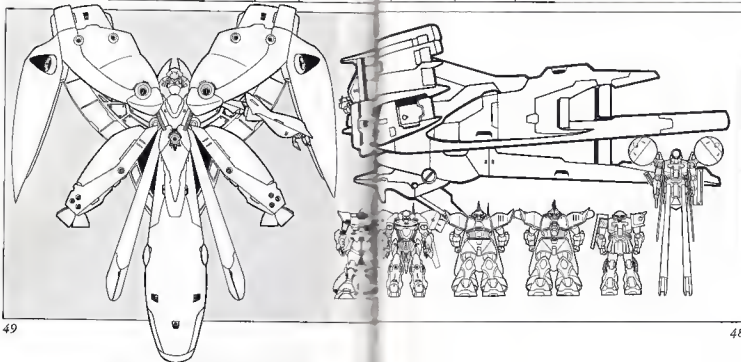
MS・MA性能比較

形式番号/名称	全高(m)	自重/標準(t)	シールド重量(kg)	主スラスター推力(kg)	180度旋回時間(sec)	主武装
RX-78GP01-Fb ガンダム試作1号機フルバーニアン	18.5	43.2 16.0	2,045	45,000×4 13,500×4	0.8	60mmバルカン×2、ビームガン×2、ビームサーベル×2、ビームライフル
RX-78GP02A ガンダム試作2号機	18.0	54.5 83.0	1,860	32,000×4 5,800×4	1.1	60mmバルカン×2、ビームサーベル×2、専用バズーカ
RX-78GP03 ガンダム試作3号機	全長340.0(砲含まず:73.0) 全高:38.5 全幅:62.0	226.4 453.1	38,800	377,500×6	—	ロングライフル×1、大型ビームサーベル×2、フィールドリリア×1、ビームライフル、バズーカ、爆弾、ミサイル、ボッドその他
RX-78GP03S ガンダム試作3号機ステイメン	18.0	41.6 70.0	2,000	40,000×2 42,000×2 12,000×2	0.6	ビームサーベル×2、ビームライフル、その他バズーカなど
PGM-79N ジム・カスタム	18.0	42.0 57.5	1,420	30,000×2 1,870×4	1.5	60mmバルカン×2、ビームサーベル、ジム・ライフル
RGC-83 ジム・キャノンII	18.0	47.3 66.9	1,420	13,000×4 1,870×4	1.6	60mmバルカン×2、ビームサーベル、ビームキャノン×2、ジム・ライフル



MS・MA性能比較

形式番号/名称	全高(m)	自重/総重(t)	ジェネレータ出力(kw)	ミサイル搭載力(発)	100%燃費時間(sec)	主武装
MS-06F2 ザクII	17.5	49.5 70.3	985	20,500×2 3,100×4	1.7	120mmマシンガン、ヒートホーク
MS-14F ゲルググ・M・量産型	19.2	45.1 61.3	1,440	20,500×2 7,000×2	1.6	110mm連射砲×2、ビームサーベル×2 90mmマシンガン
MS-14Fs ゲルググ・M・指揮官用	19.2	40.5 60.0	1,490	20,500×3 7,000×4	1.6	110mm連射砲×2、ビームサーベル×2 40mmバルカン×2、ビームライフル
MS-21C ドラッツェ(Dra+G)	(全長)23.8	23.9 49.0	596	28,000×2 20,500×3	—	ビームサーベル、40mmバルカン
MS-09R II リック・ドムII	18.6	45.6 79.9	1,219	21,000×2 7,000×2	2.1	ビームサーベル、レーザー砲 その他マシンガンなど
AGX-04 ガーベラ・テトラ	18.0	46.7 73.2	1,710	56,000×2 56,000×1 13,500×4	0.9	110mm連射砲×4、ビームサーベル×2 ビームマシンガン
* シュツルム・ブースター 装束時		48.5 86.0		56,000×2 56,000×3 13,500×4		
AMA-X2 ノイエ・ジール (NEUE ZIEL)	全高: 76.6 全幅: 73.6	198.2 403.5	75,800	359,000×1 204,000×1 125,000×11	—	メガカノン砲×1、偏向メガ粒子砲×9、有線クロー・アーム×2、メガ粒子砲×6、大型ミサイルランチャー×4、大型ミサイルランチャー×24、1フィールド・ジェネレーター×4



302哨戒中隊のタイマー

MS用語辞典②

302哨戒中隊

[302 PATROL COMPANY]

ガトー旗下のカリフォルニア軍曹が所属していたMS部隊。コンベイ島出撃前には3機を残すだけになっていた。

受閲艦艇 [WARSHIP IN ORBIT AL FLEET VIEW]

観艦式において観閲を受ける側の艦艇のこと。観艦式は通例、観閲部隊(観閲する側)とその付属部隊とを受閲艦艇部隊で構成される。

ジュメツ [ZITE]
GDOORの使用する
ビームライフル(ボフフ・X

BR M-82A)に装備さ

れている小型ビームサーベルのこと。これにより、ライフル装備状態のままで、敵の近接兵隊の緊急防御が可能となった。

スコア [SCORE]

敵機の撃墜数を示す値。

ステイメン [STAMEN]

① GPO3のMSユニットのコードネーム。②おしへのこと。

ゼファイランサス

[ZEPHYRANES]

① GDOORのコードネーム。
②花の名前(「玉簪」の学名)。

花言葉は「清い愛」。

戦時附録

[SPECIAL CLASS IN WARTIME]

戦時において部隊のために支隊を築かないために、指揮官の判断により特別に与えられる階級のこと。バニングの戦死後、この階級を継業してペイトが大尉、コウが中尉に上げられた。

第1軌道艦隊

[1ST EARTH ORBITAL FLEET]

第1地球軌道艦隊。ガトー少佐のコンベイ出撃の際に、観艦式に受閲艦艇として参加していた主力艦艇を指す。

その後、バスク・オム大佐が臨時司令代理となり、地球近隣に待機していた部隊を率い、

ノーラ・ンスディムを移動させる。

第3軌道艦隊

[3RD EARTH ORBITAL FLEET]

ジョン・コウエン中將が指揮をとる、第3地球軌道艦隊のこと。アルビオンの所属するが、この艦隊、地球軌道艦隊は、静止軌道内域の守備を主行動任務とする艦艇であり、第1第8艦隊まで組織されている。

アンドロビウム [ANDROBIUM]

① GPO3のコードネーム。

② 蘭の一種の学名。花言葉は「我儕な美女」。

フレンド [FRIEND]

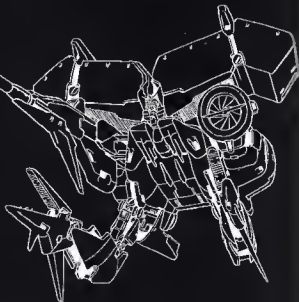
流れ弾。主に宇宙戦艦ワラスの放つものを指す。

ナイメーヘン [NIMEHEN]

ヨーロッパ、かつてオランダにある連邦軍の士官学校

コフヤキースもこの卒業生である。お坊ちゃん学校とい

われている。



ガンダム オフィシャル レポート GUNDAM Official Report

●U.C. 0090年以後、宇宙世紀はふたたび混沌としていた。テラース・フリートの蜂起は、新たな時代の混乱の火種でしかなかったのである。一年戦争からグリプス抗争までの期間における情勢の変化は、この時期に形作られたものだったのだ。

歴史

History
U.C. 0083~0086

デラーズ紛争

一年戦争とグリプス抗争の間、大規模な軍事行動があったことは一般には知られていない。

この時期の連邦軍がデラーズのアビールに対して起した行動は、ジオン残党は素質的に壊滅していることや、散発している公国残党を捕獲するゲリラ活動は他にも多数に上ることを一般的な風潮として流布させていることだ。連邦軍は核兵器を搭載したMSなどを作ったことはない、エギーユ・デラーズの提示したゲキウ・インデキである、と直接的に連邦軍がそういっただけはなかったが、例えこれらの情報をマスコミにのせられたことはなかったが、例えオカルト番組と同等のレベルに

落すとすことは簡単だったのだ。(取材などに対する公式対応は、ほとんどが黙殺。あるいは「コメントがない」無言のうちに拒否された。デラーズ・フリート以外の公国残党に対する弾劾や示威行動は恒常的に行われており、実際にデラーズ・フリートの蜂起に対する作戦行動もとられてはいた。ただし、それら連邦軍の行動は、すべて別の理由付



イラスト/たけしんご

年・月・日	事 柄
U.C. 0001	宇宙移民開始をもって宇宙世紀に移行。地球連邦に旧連邦連
0002	初の月面探査船、ファンブラウン市発
0003	初の月の探査、(約50億人)宇宙への移民を完了
0045	宇宙軍用機「ルナツー」月軌道に突入。サイド3にミノフスキー物理学会設立
0050	連邦人口は110億。うち90億が宇宙に移民
0055	ペナル・ホルスト、ブッフ、ブッフ、ジャンク、インタ計画
0058	ジオン・ユース・ディクソン、サイド3設立宣言、ジオン共和国樹立。国防総局足
0059	サイド3に対し連邦政府による経済封鎖
0060	連邦軍、65年次軍備増強計画(特に宇宙戦艦の増強) ルナツー軍軍基地化
0062	ペナル国防軍、国軍へ移
0063	ジオン・ユース・ディクソン(「連邦の可成りあり」次期首相はデギン・ソト、ザビ。シゲル・ホルスト、ブッフ、並役の名義の名家の名を継
0067-04-15	ジオン公国宣言、公使にデギン・ソト、ザビ。ザビ家領邦の代表、ジオン連邦加盟、ミノフスキー・粒子宇宙の実証に成功
0070-03	公国軍、ミノフスキー粒子宇宙による軌道防衛などの特殊効果へミノフスキー効果へ確認成功に成功
0070-05	公国軍、メガ粒子砲を完成
09	連邦軍、70年次軍備増強計画によるサラミス、マザラン級の新型宇宙戦艦配備
12	サイド3建設のため、ルナツーを月軌道に突入。連邦軍とジオン共和国の衝突へ移
0071	ジオン公国軍兵務局長、ミノフスキー粒子宇宙における新型兵器の開発に着手、ミノフスキー物理学会による小型核融合炉の1号機完成
0072	ジオン公国、アステロイドベルトに小惑星軍艦アラスカを建設
0073	公国軍、新型兵器1号機試験、MS-01の近距離攻撃とミサイルスロー(MS)という呼称を与えらる
0074-02	公国軍、ミノフスキー型機動兵器のMS-05GZ1の試作機ロールアウト
0075-05	公国軍、MS-05GZ1の試験機ロールアウト
07	公国軍、ムヤビ核融合炉の1号機完成
0076	公国軍、地球環境保護を前提とした近距離用MSの開発に着手
0078-01	公国軍、ザラの強化型、MS-06Z1の量産開始
05	サイド3第1号コロニー、完成品ながら兵務開始
10	ジオン公国、地球連邦政府に対し独立を宣言、軍艦増強と民間にサイド1、2、4へ飛躍航行。MS-06兵器開発開始。コロニーの落下により、大規模な気象災害を発生
0079-01-03	一年戦争勃発、ジオン公国、地球連邦政府に対し独立を宣言、軍艦増強と民間にサイド1、2、4へ飛躍航行。MS-06兵器開発開始。コロニーの落下により、大規模な気象災害を発生
01-11	サイド3の宇宙軍
01-15	ルナム戦役。連邦軍宇宙艦隊撃退。公国軍は艦隊司令のレベリオンを派遣する
01-31	所縁兵器試験
02-07	公国軍、地球環境保護開始
03	公国軍、地球環境保護の計画を使い勢力を増強
04	連邦軍、新型MSと高度機動兵器の開発。連邦軍を目的とした作戦及び損失した宇宙戦艦の復元を主目的としたシンジケート計画を開始(突撃)
05	宇宙戦艦シンジケート
06	公国軍、宇宙戦艦ア・バオア・ター、ソロモン、月面基地ダラダを頼んだ本防衛ライン完成。フラナガン機関設立
07	連邦軍、ビーム兵器の小型化に成功。連邦軍の新鋭機MS-06Z1(WS)完成、MS-06Z1ガンダム試作機1号機、ロールアウト
08	連邦軍の試作機1号機、サイド7で最終テスト開始。北米オースタ連邦軍基地においてMS-06Z11号機試験
08-18	公国軍神前総司令サイド7進駐
09-18	連邦軍の各工場でのMSの量産開始。公国軍、内政のため新型機を次々に兵器配備、ニューロータリーにおいて地球連邦軍司令部襲撃、MS-06Z1とザビ戦
10-04	ホレン・ザビ、全地球規模の突撃を開始
10-06	連邦軍、オースタ作戦開始。3台のMSの突撃、連邦軍の勝利に終わる
11-07	公国軍、連邦軍司令部を襲撃(コロニー突撃)。公国軍地上部隊の決定戦となる
11-30	連邦軍、MS-06Z1の突撃
12-14	連邦軍、MS-06Z1の突撃
12-26	連邦軍、アメリカ、北米で公国軍神前戦を再開
12-26	ソロモン攻撃作戦開始。公国軍敗退。宇宙攻撃司令部でMS-06Z1とザビ戦
12-30	ア・バオア・ター、ニューロータリーに突撃。連邦軍、レベリオン艦隊を喪失
12-31	ア・バオア・ター、ニューロータリーに突撃。連邦軍、レベリオン艦隊を喪失
0080-01-01	一年戦争終結。月面のガンダムにおいて連邦軍とジオン共和国の間に終結決定戦
01-03	デラーズ中隊、デラーズ中隊を率いて公国軍残党を捕獲。地球環境保護
01-08	デラーズ中隊、地球環境保護に協力。襲撃基地「失の星」の設置開始。以降、対外的な活動を一時的に停止
05	アフリカ大陸の旧公国軍、武装解除(あくまで連邦軍の公使発表。実際に、ゲリラ化した部隊は活動に上る)
0041-03-14	デラーズ・コンフェレンス。利益の分配と同時に軍事訓練校を設立
03-28	公国軍残党、小惑星地アラスカに避難

星の屑作戦

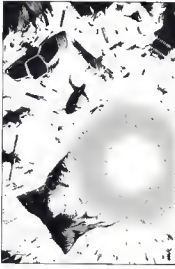
ガンダム試作2号機に装備されるMk II型弾頭は、宇宙世紀に一般的になった核融合素子が搭載され、旧世紀中に開発されたいかなる融合弾よりも高出力でエネルギーを換する。連邦軍内部では戦術核として登録されているが、その威力は実質的に戦略核を凌駕するものだった。2号機を遠征させたのがデラーズ・フリートの目的だったと考えていた。すなわち、2号機を遠征しさえすれば今回の騒動は決着すると結論したのだ。さらに言えば、2号機が破壊されたとしても、それで言質を取られたと考える將軍はひとりもいなかったのである。

受けたとしても、デラーズ・フリートの総力はいかに知られていよう。数で勝る連邦がデラーズ・フリートにこきよに遅れをとるはずがない。また、いかなる公明党といえども、艦隊の前に萎縮するだろう。さらに、軍の上層部にはデラーズ・フリートの標的を持っているものがあつた。取引が成立すると考えていた。また、連邦軍首脳の中には、この状況を利用しようとする陰謀めぐる勢力もあつた。

デラーズ・フリートが立案した「星の屑作戦」は、もうひとつの側面を持っていた。地球圏のただ中で潜伏している事実を活かし、その周辺情報を収集し、全ての出来事を綿密に検討した。それは連邦やコロニー公使、アナハイム

ム、エレクトロニクスの中層情報を手することはもちろん、公式に発表されるあらゆるデータをも分析することで、全体を俯瞰する視点を持つて弄されたものだったのだ。これは、連邦政府も連邦軍もついに持つことができなかったもので、そのことがすべての根本的な問題の根源となつていくといえる。全体を統括

する義務と責任のあるものが、自分の領域以外の事々に関心をもちたくないのが、宇宙世紀の本質的な問題点だったのだ。星の屑作戦は、連邦が挙行する経歴式、アナハイムが開発した2号機、コロニー公使が定めるコロニー再生計画、その全てが充分に考えられなければ、決して完遂されることはなかっただろう。



年・月・日	事 柄
05-03	ドズル・ザビ夫人(ゼナ)アラスで病死
08-15	デラーズ・フリート、「シオン公国襲撃戦」を艦にゲリラ活動開始
09-17	デラーズ・フリート、デラーズ・フリートに襲撃、沙也に再渡
10-13	デラーズ・フリート、アナハイムとの接触と停戦
10-20	連邦軍再建計画が連邦国会で可決
11	連邦軍再建計画の一環としてシオン・コウエン中野被弾、アナハイム・エレクトロニクス(以下E.N.C.)で「ガンダム複製計画」がスタートする
09-02-04	デラーズ・フリート、アラスとの決戦を再戦
05	連邦軍、移住後にニュータイプ研究開始
11	第1次コロニー再生計画開始、サイド4(旧称)からサイド3へ復讐可能なコロニーの移送開始
12	デラーズ・フリート、「炎の星」内の工場破壊でM.S.の開発を計画
09-03-03	デラーズ・フリート、「ガンダム複製計画」開始、A.E.に工作員を導入させる
03	A.E.中野、連邦勢力の不安化を懸念し大規模反乱の立案を企図、反連邦勢力との関係強化
05-05	デラーズ・フリート、M.S.-21 Cの生産を開始
07-30	「炎の星」作戦計画立案
08-09	デラーズの指揮官ジョーシャ・カーク死亡
08-11	「星の屑」カーサ(旧称)シオン、デラーズ・フリートの方針を撤回、支援停止
01	A.E.、新資金「ガンダリウム」・ガンサの調製に成功、シーマ艦隊、ガトー少佐との戦いでデラーズ・フリートへの襲撃に成功
01-18	A.E.のフォン・ブラウン工場でR.S.-78 G P02 A ロールアウト
01-29	四上場でR.S.-78 G P01 及び F (フルバーニア) 乗換機部品ロールアウト
10-04	五上場でR.S.-78 G P03 ロールアウト
10-07	アルビオン、A.E.の工場「ブラウン工場」でR.P01、G P02 A を受領、重力下試験のためテストデラーズの連邦軍トリエント基地へ向け出航
10-09	ガトー少佐、アフリカに降下、地上の会合を発生させ
10-13	15-08 アルビオン、トリエント基地に到着、「星の屑」作戦発動、ガトー少佐行動開始
10-14	21-08、移住計画とG P02 A を乗換機
11-14	21-46 連邦軍の機動隊M.S.小隊がR.P02 A の追跡開始
10-16	米特 ガトー少佐、G P02 A 複数のコロニーで脱出を計るもR.P01によって阻止される
10-23	半結 パンダグロ、海軍で交戦。G P02 A はR.P01に回収されるアフリカ方面へ脱出
11-01	11-01 ジャブローのクウエン中野からアルビオンのシバアス艦隊にG P02 A 乗渡り命令が下る
12-15	12-15 キンバライド基地をキッパット少将率領機動隊作戦開始
14-01	14-01 ガトー少佐脱走、G P02 A はH.L.D.で軌道上へ脱出
14-27	14-27 キンバライド基地陥落
14-30	14-30 デラーズ・フリートのムサイ艦隊旗艦パール・ギュンツ、H.L.V.を回復
10-25	10-25 連邦軍第一機動隊連隊のラリス部隊と交戦の傍行方不明
10-26	シーマ艦隊、デラーズ・フリートに参戦
10-31	10-31 アナハイムの大型ドック艦隊パール・ギュンツ、G P03のトライアルを開戦
10-31	03-23 パール・ギュンツ、増援部隊艦隊を航行中シーマ艦隊のリリー・マルレーンとニアミス
10-31	10-31 パール・ギュンツ、増援部隊「星の屑」に参戦
10-31	10-31 アルビオン、二機のサイラスと会合、増援部隊艦隊開始
10-31	12-19 リリー・マルレーン、増援部隊アルビオン艦隊を攻撃、重力下試験のまゝのG P01破壊
11-01	12-30 デラーズ安眠、地球全域にデラーズ・フリートの宣戦布告発表
11-02	第二次コロニー再生計画開始、サイド1からサイド3へ復讐可能なコロニーの移送開始
11-02	11-02 アルビオン艦、片断新市街・ブラウンに到着、G P01は増援とFトタイプへの乗換のためA.E.の工場へ侵入
11-03	08-01 アナハイム・ザウターの資源輸入港にデラーズ・フリートの機動隊艦隊侵入
11-04	11-04 A.E.のR.P02 A 乗換機でG P01-Fトタイプアルビオン
11-05	20-53 M.A.-06フル・ザロの襲撃に反対してアルビオン緊急発進
11-18	21-18 G P01-F、ザロフル・ザロを撃破
11-40	21-40 アルビオンが引力を開始、リロセオンに向かう
11-05	07-20 ガトー艦隊リロセオン作戦に向く「炎の星」を出航
11-07	07-20 航行中のアルビオン、デラーズ・フリートの小隊と遭遇し砲撃戦を再開
11-07	07-20 ガトー艦隊、リロセオン作戦に向く。増援
11-08	14-52 連邦軍艦隊パール・ギュンツがシーマ艦隊と交戦、アルビオン、救援のためパンダグロを派遣させる
11-16	11-16 シーマ艦隊出航作戦区域へ移動
11-27	11-27 パンダグロ到着

年・月・日

事 柄

11-10	アルファ・A・ベイトは火炎に、コフ・ワラキ屋射に戦時界連
00-00	アラブズ・フリード艦隊ドラゴン、艦隊を率いて「宝の窟」を出航
02-23	アタシズ先遣隊、地球面に降臨
11-00	連邦軍艦隊「海戦艦」による中止証立、4年以内に実行される
14-31	コトローに、機艦隊を襲撃、G P02 Aの4対4戦艦隊を襲撃、グリーン・ワイアット大尉襲撃、参加艦隊のメノ3が進行不能以上の損傷という大損害を被る
15-03	G P01-ドとG P02 Aが交戦、阿蘭とメノ3はともに降参
16-29	シーマ艦隊、移転中の2面のコロニーシラックを航行
18-00	アルビオン、ラビアンローズに射撃攻撃
21-00	連邦軍哨艦機ストロベリ3がシーマ艦隊のコロニーシラックを襲撃
21-11	シーマ艦隊、コロニー2と3の3機の戦艦を襲撃
21-20	2面のコロニーが突来、内、1面は射撃に不能を開始(2面のコロニーの両面距離まで949分)
21-30	連邦軍の機艦隊、コロニー艦を襲撃、シーマ艦隊とコロニーの追撃を開始
04-14	アラブズ・フリード艦隊、シーマ艦隊と交戦、コロニー艦隊を襲撃
08-25	ガトー艦隊、アタシズ先遣隊と会合、アタシズ製M Aノイエ・ジョルの機を襲撃
05-57	アルビオン、ラビアンローズに襲撃
08-51	連邦艦隊の先頭艦隊とノイエ・ジョルが交戦
09-26	ガトー艦隊とアタシズ先遣隊、アラブズ・フリード艦隊と会合
10-40	アラブズ・フリード、月面の軌道調整機「イグニッション・レーザ」を用いてコロニーの降参に成功、コロニーは地球面下軌道コースを突入(地球表面まで2249分)連邦軍艦隊は燃料不足のため軌道より脱出不能となる
12-12	ルセッド・オパビ、死に
12-18	アルビオン、G P02に突進
10-01	先行したG P03、アラブズ・フリードと交戦を開始(コロニー高度まで885分、降参降参降参まで564分)
10-50	G P03とノイエ・ジョル、戦闘開始
13-51	月軌道上の連邦艦隊、降参した、アラブズ・フリード艦隊を襲撃
17-15	シーマ・ガラハツ、ガトー艦のワックを占領
19-34	コロニー、高度降参降参点を突撃(地球降参まで300分)
00-15	エコー・エコーズ艦隊、襲撃
01-27	ソーラ・システムII、降参(地球降参まで165分47秒)
22-41	シーマ・ガラハツを、軌道
23-11	ガトー少佐、コロニーの最終軌道調整を完了(地球降参まで24分54秒)
00-00	ソーラ・システムII、2面を降参
00-13	機艦隊コロニー上空をコロニーが通過(現地時間11月12日20時13分)

※情報公開法により偽争中

12-04	ジャミトフ・ハイマン機によりティターンズ艦隊、面公軍艦隊時り点発化、
0084-06-17	連邦艦隊、地球面の現状調査を命
07-08	ブラス・コンシエレンの降参コロニー完成
08-21	シムラ・アズバブル、地球面に降参、降参による連邦軍の軍艦を襲撃
0895-07-31	20ババット艦隊、ティターンズがサイド・13Dババットに襲撃を命じ佐佐木を降参、反地球連邦連動(A・E・U・I・G)点発化
08-08	グリプス2、サイド1に降参される
0085-07-06	アタシズ、地球面に降りて来る
0087-03-02	エコーズ、グリプス1より試作M53艦を攻撃
04-29	連邦政府、本拠地エコーズ艦隊にシユビリスの地球降参降参をもって面公軍降参の機艦隊を命
05-11	エコーズ、地球連邦軍のジャブロー進出を攻撃
06-29	ティターンズ、ボンコン・シチを襲撃
08-10	ティターンズ、アバロ作戦降参、フォン・ブラウン西を襲撃
08-17	エコーズの降参艦、グリプス・フォア降参降参
10-12	アタシズ、地球面に降参
11-16	エコーズ、ダカールの連邦艦隊を占領、全世界にティターンズの軍艦を告発
12-07	ティターンズ、グリプス2のコロニーレーザーでサイド2・10ババットを襲撃降参、佐佐木は突発に
12-14	ティターンズ、サイド2・10ババットを襲撃降参、佐佐木は突発に
0088-01-18	アタシズ、ゼダンの門の影アバロ・アター・ターを襲撃
02-02	エコーズ、メールシュトローム作戦降参、降参によりグリプス2を占領
02-22	エコーズ、アタシズ、ティターンズによる降参、ティターンズ降参、コロニーレーザー証
06-05	ホ・ジョン、先遣隊艦隊を地球に降参させる
06-01	ホ・ジョンの降参、地球降参

コロニー落とし

コンペイ島宙域で実行された艦隊式は、ガタム試作2号機によって模倣された。通常以上の警戒網が敷かれていたが、「ソロモン」の悪夢と異なるとるアラブズ・フリードのエースパイロット、ガトー少佐の前に警戒網は突破され、密着していた連邦軍宇宙艦隊は驚きのバミーンガムを始め、その約三分の二が航行不能以上の損傷を被った。その直後、サイド1からサイド3へ移送中のコロニーがシマ艦隊によって襲つた。シマの落下コースに取られ、ここでエコー・デラズは月へのコロニー落としを連邦軍に対して告発した。

二一落とされたことを知った連邦艦隊は、被撃の収拾もそこそこ一月へ向かうアラブズ艦隊とジャックされたコロニーを過つた。連邦軍首領はアラブズから出された要求を一顧した。三分の一となった艦隊でもアラブズ・フリードを撃つるには充分すぎる数だったからだ。一方、2号機との戦闘で1号機を失い戦力が激減したアルビオンは、ラビアンローズへバミーンガム試作3号機の受領に向かう。また、ガトーの受領はノイエ・ジョルなどを捕える。アタシズから先の連邦艦隊と接し、シマ艦隊はアラブズ艦隊から捕給を受け、次の作戦行動に備えていた。



車	柄
---	---

[illegible]

ディターンスの台頭

に随伴するデラーズ艦隊と接触する寸前、シーマ艦隊に強迫された月面都市のイグニツション・レーザーによってコロニーの推進剤が点火された。推力を得たコロニーは、コースを地球に向けた。連邦軍首脳はようやくデラーズの真意

を知った。しかし、無捕給のままの追撃艦隊は月軌道からの離脱さえ不可能だった。3号機を回収したアルビオンは、ラビアンローズからブラース艦隊の迎撃に向かう。コロニー着層を食い止める唯一の方法は、ジャブローへの軌道修正のための推進剤をコース変更に使用することだ。だが、ガトーの駆るノイエ



ジョールを始め、コロニーの護衛部隊を抜くことは困難だった。地球の軌道の上に待機していたソーラ・システムがコロニーを迎撃するが、コロニーの進行は止まらなかった。さらに、デラース・フリードの一派が、この抗争を軍閥体制の確立に利用しようとする連邦の勢力と結託し、戦況はより一層混沌とする。

一連の紛争は、連邦軍の体制に激しい変化をもたらした。コロニアの落盾は、事故として発表、処理され、紛争の混乱に乗じて行われた様々な策謀により、連邦軍内部にはテイターズが結成された。また、各サイドは再編され、パンテも統合し直された。そして、地球圏は、あらたな時代に突入する。



History

コロニー再生計画

期のルウム戦役時、サイド5宙域において、大規模な艦隊戦を展開し多量の核兵器を使用した。そのためサイド5は施設そのものも壊滅的な打撃を受けた。それ以前に、サイド1、2、4は公国の電撃的な侵攻によって無差別殺戮の標的とされ、生物、化学兵器が投入された。しかし、コロニーなどに限っては、後に自分たちが使用することを考え、人民の排除だけが実行された。ところが実際には、一度B C兵器で汚染されたコロニーの再生は予想以上に困難を伴うものであった。シリンダー内部の空調から大気の流れ、それら気体自体の質量調整など、シリンダーの内容物はおおいそれと交換できるものではなく、大気の組成などを含めコンピュータによって管理さ

れており、それらのデータは自転速度や外壁の構造はもとより、コロニーシリンダーそのものをシステムティックに統合している。すなわち、スペース・コロニー計画では、一度住民が居住したところのあるコロニーを再び入植以前の状態に戻すということは想定されていないのだ。コロニーひとつでもそのデータ処理には膨大な作業を必要とする。ここに公国は戦争遂行中であり、それらコロニーの再生作業を行うことは不可能だった。公国首脳部の構想ではそれらの作業は地球圏の覇権を握ったあとのことだった。本来は産地制限を含む独裁を自論んでいたのだから当然とも言える。しかし一年戦争終結後、それらのコロニーは放棄されてしまっていた。

ガンダム・オフィシャル・レポート、2

コロニー再生計画

COLONY RECLAIM PLAN

U.C.0080~0084

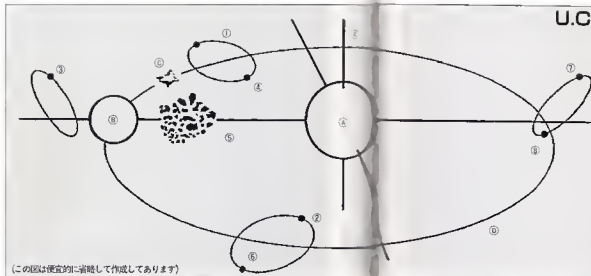
コロニーの状況

一年戦争によって宇宙世紀の人類が被った被害は甚大のものであった。戦争の初期段階で、当時の総人口の約半数が死にいたり、彼らの生活の場であり宇宙植民都市の基であるコロニーシリンダーの損壊を含め、生活空間の確保そのものが支障をきたす事態を招いてきた。地球圏の人類を統率する義務を負うべき連邦政府の対策は常に後手にまわっており、半官半民の機関であるコロニー公社は終戦直後、コロニーシリンダーの「修繕」に奔走していた。コロニー移送計画は、今回の戦争で生まれた難民を始めとし、今後の人口増にも対応する必要がある計画されたものであった。

公国と連邦は、一年戦争初

U.C.80年代前半の地球圏

- ①サイド1 ②サイド2 ③サイド3
- ④サイド4 ⑤増強宙域 ⑥サイド6
- ⑦サイド7 ⑧ルナツー ⑨地球 ⑩月
- ⑪コンペイ島 ⑫日ノロモン ⑬月の公転軌道 ⑭天頂



(この図は便宜的に省略して作成してあります)

COLONY RECLAIM PLAN

COLONY RECLAIM PLAN

コロニー再生計画

効性があったことも確かではある。しかし、全体的な計画はいかにとも急場のしのぎのもので、長期的な展望に欠けていたという指摘が多くあったことも事実である。つまり、コロニー移送中の安全確保問題や災害発生時の責任所在がまばりかではなかったのだ。0084年に連邦政府が地球圏の現状維持を決定したのも、一年戦争で総人口が半数に減少したことを根拠にしたものだ、というのはあくまで表面の理由であって、コロニー移送が、新規建設とはまた異なる「大規模な移住」がデラズ・フリーのコロニージャックによって明らかになったからだということでもある。実際、一年戦争時のフリティッシュ作戦は、連邦の警戒をすり抜けてコロニーの軌道を実

現変更させるもので、一大軍事行動を伴わなければならない規模の非常に困難な作戦だったのだ。これは、地球の周辺に存在するグラランジェ、ポイントがいかにか安定しているかの証左ともいえるだろう。このコロニー移送計画は、前述したように、例えは旧世紀中のフルート10号移送のように、相当、穴だらけの計画だったと懸念されている。この後も連邦の体質として継続していくことになるが、デラズ紛争直後においてはこの点が反省され、ティターンズの台頭に代表される管理統制の強化という風潮が主流となる要因になっている。さらに、その後もコロニーなどに対する管理統制の方針には変わることはなかった。

コロニー再生計画

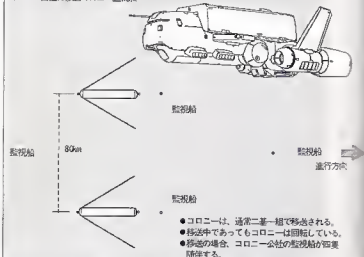
コロニーの再生

一年戦争の混乱も收拾しつつあった0082年に、第一次のコロニー再生計画が実行された。住民がいなくなったコロニーを、ジオン共和国となつたサイド3へ移送するのである。基本的には、通常制御が可能なシリンドラーを添加することで軌道変更を施し、別のグラランジェ・ポイントに、移動するのである。といっても、シリンドラーの質量は膨大であり、移送しないコロニーとの重力干渉や、もとより重力均衡のない宙域を通過することもある。ほとんどの場合一基が一群として移送される。互いの距離や移動速度は厳密に制御され、回転力による偏向やスクイズが起きないように慎重な作業が

実施される。これらの慣性変更に必要なエネルギーもまた膨大であり、とても個人やゲリラレベルで実行することはできない。一年戦争以後、地球圏の大質量物はほとんどが連邦やコロニー公社の管轄に置かれ、戦艦やMSの残骸など、ジャンク、廃物でしかない浮遊物でさえも、入手した瞬間に責任と賞罰が発生する制度が出来上がっていた。0083年にはサイド1からサイド3にむけ修復可能なコロニーの移送が開始された。一連の作業は、難民対策や補償問題の代替案として実施されている側面もあり、難民収容施設や管理と運営をジオン共和国に押し付けているという批判も根拠のないものではない。ただし、一連のコロニー再生計画は、ある程度の美

更なるエネルギーもまた膨大であり、とても個人やゲリラレベルで実行することはできない。一年戦争以後、地球圏の大質量物はほとんどが連邦やコロニー公社の管轄に置かれ、戦艦やMSの残骸など、ジャンク、廃物でしかない浮遊物でさえも、入手した瞬間に責任と賞罰が発生する制度が出来上がっていた。0083年にはサイド1からサイド3にむけ修復可能なコロニーの移送が開始された。一連の作業は、難民対策や補償問題の代替案として実施されている側面もあり、難民収容施設や管理と運営をジオン共和国に押し付けているという批判も根拠のないものではない。ただし、一連のコロニー再生計画は、ある程度の美

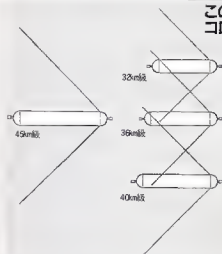
コロニー公社の移送コロニー監視船



COLONY RECLAIM PLAN

この時期の平均的なコロニーの対比

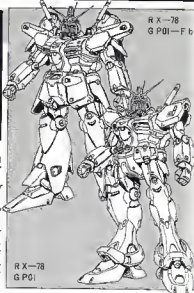
●スペース・コロニーは、その多くが直径6.4mで建造され、規模に応じて長さや調整されている。サイド1からサイド3移送中、シーマ艦隊によってジャックされたコロニーは40m級のものの。



COLONY RECLAIM PLAN

ガンダム試作 号機
GPOIは、汎用人型兵器としての思想をさらに追及し、より人間に近い運動、操縦が可能なるように設計されている。(この設計思想は後にムーバブル・フレームへと昇華される。パイロット及び戦艦データーの生還手を確認するため、

ガンダム試作 号機



コア・ブロックシステムを引き続き採用しているが、RX-78とは異なる方式を試験的に採用している。この機体は本来、主翼のコア・ファイターの機体として宇宙空間での機動も可能なるように設計されているが、作戦行動中に被った損傷のため、宇宙用機として換装されることになった。

RX-78 GPOI

GPOIフルバリエーションは、宇宙用とはいえないが、あらゆる面で以前の機能を凌駕している。全く別な機体であるといっても過言ではないだろう。主翼であるコア・ファイターそのものを、プロペラントタンクと一体化した宇宙用機に換装し、ドッキング時のカバが取り除かれ、M5形態時でも機体後部を可動できるようにしたデブリモーターに配置されたデブリモーターと併用することで、方向転換や姿勢制御用としても用いられることになった。そのため、機体全体の運動性、機動性とも格段の性能向上が達成された。また、ビームサーベルユニットは、ジェネレータ出力の向上もあって、M5形態でもビームガンとして使用で



GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

ガンダム 開発計画

GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

U.C. 0081~0083

ガンダム開発計画

ガンダム開発計画は、連邦軍再建計画の一環として、連邦軍のジョン・コウエン中将の管理の下で行われた。目的は、一年戦争時に優秀な戦績を残したRX-78ガンダムのような高性能の次期主力M5を試作することだった。アナハイム、エレクトロニクス(AE)社が作り出したいわゆるGPシリーズのM5はそれぞれ「最強のM5」を目標とした機体である。試作1号機RX-78GPOI/Fは、純粋なM5単体の機動力、運動性能を追求した機体で、試作2号機RX-78GPO2 Aガンダム・サイリスは最強の機動兵器に最強の戦術兵器を組み込んだ機体であった。



そして試作3号機RX-78GPO3ガンダム・デンドロウィムはM5とM4Aの能力を合わせもつ機体として作られた。これらの機体は開発そのものが積極であり、デラズ紛争との関係で公認からは抹消されている。この紛争によるコロニーの落下は、あくまでも事故として処理する必要があったからだ。また、コロ

ンバイ島で総領頭が使用されたとも情報としては完全に隠蔽されている。さらにA.E.の事情としても、一部の役員がデラズフリードとの裏取引で、ガンダム4号機ともいえるAGX-04(アナハイム、ガンダム試作4号機の意)ガーベラ、テトラを譲渡していた事情があり、GPシリーズを公にはできなかった。

GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

ガンダム開発計画

ガンダム試作3号機

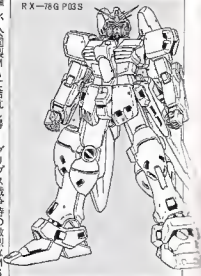
ガンダム試作3号機は、MSユニットのデンドロビウム・ステインとアームドヘリス・オーキスによって構成される巨大な機動兵器である。一年戦争当時、公国製モビルアーマーの脅威を自の当たりとした連邦軍は、それに対抗し得る兵器開発の必要性を

痛感していた。この機体は、出撃後でも武器の換装が可能で、遠距離戦闘から近距離戦闘まで多様な戦況に対応することができ、その意味で巨大な武器庫を携えたMSと云うこともできる。ただし、アームドヘリス・オーキスそのもの、膨大なプロペラントによる機動力と長大なバリエーションを誇る巨大なクローアームなどを装



A.E.の
ルセット・オデビー A.E.のクレナ・ハワセル

RX-78GP03S



備し、公国製MSに抵抗し得る戦闘能力を持つているため、単なる機動武器庫と侮ることはできない。無論、ステイメン単体の性能も非常に優れている。オーキスとのドッキングを考慮して設置されたデルバイナードなどが、四段との運動によるAMBAC効果を含み運動性能や機動力の向上をもたらししているのだ。後に、

グプス戦争時の激烈なMS開発競争の渦中から、バイナードやスタライザーの技術が多く採用されていることから、ステイメンの持つ先見性は候補のものであったということができる。

実質的にこれらの機体は、数年後以降に開発されるMS群に比肩し得る性能を持つていたと言っても過言ではない。

GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

ガンダム開発計画

ガンダム試作2号機

この機体には、宇宙世紀において、兵器として最優秀のものである核兵器が搭載される

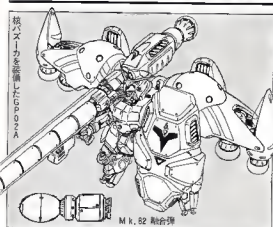
ている。核兵器の使用は人類全体に対する重大な責任行為であるが、M.S.が兵器として画期的な効果をあげたことでそれまでの兵器体系が覆されてしまったため、連邦軍内部で、戦後の優位性を維持するため、核戦略を想定した機体を作られたのだ。

実際、一年戦争末期には、公国の一高官が独断で核兵器を投入した記録も残っている。

この機体には搭載されている弾頭は書翰には戦術核として申請、登録されているが、試算によると戦略核以上の威力を持ち、連邦軍宇宙艦隊の三、四割を壊滅できるといふ。ただし、弾頭の到達半径が短く、核を使用した場合、自機も爆心付近になることとなるため

全ての装甲は耐熱、耐衝撃処理され、専用シールドには冷却装置が装備されている。核バズーカ使用時は、シールドから銃身を取りだし、基部に装備する。背部に連動の貯蔵装置があるため肩に装備されたアクティブスラストユニットは、重刀でのホバ

走行も可能である。



M.k. 82 戦術弾



RX-78GP02A

GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

MS用語辞典

ニンジン・ロカライザー

ニンジン [CARROT]

コッパを食べることで、きんいもの、ニナに自分が大人であることを示すために必死で食べようとするが、これが食べられたかという事で大人である証になるわけではもちろんない。

バツ [BRASSHOPPER]

シマがGPOD・Fに付けたあだ名。バツタのように跳ね回るようすを見てつけたと思われる。

バルフウィッチ [WALFISCH]

ガト・少佐のコードネーム。通稱時は、敵からの俘虜を恐

れてこのコードネームで呼び出す。

ピケット [PICKET]

正式名称は、ピケットライン。防衛ポイントに対して配置される防衛線のこと。

ピンクのゲルググ [PINK GER URGUG]

連判軍に接収された機体で、評価試験などに使われている。試験機であることを示すために、派手な色で塗装されている。

プレバーナー・バルブ [Pre Valve]

一次噴射制御弁のこと。推

進装置水の部品。整備員の間では「フル・バルブ」と略して呼ばれる。

Mk88 [MARK 88]

GPODに装備されている核弾頭。戦術核として登録されているが、実際には戦術核をも凌駕する威力を持つ。

ミノスキー干渉波 [Minosky Interference Wave]

ミノスキー・粒子の散布領域内に核が存在すると、それが粒子の拡散に干渉して、濃度変化を生じさせる。これが、ミノスキー干渉波である。これを電波攔乱の度合いで検出・分析すると、その物体のおよその位置、大きさが判明する。また発展途上の探知システムで、敵の形状・種類の特定が曖昧であり、ダミーの判別つきにくい難点がある。

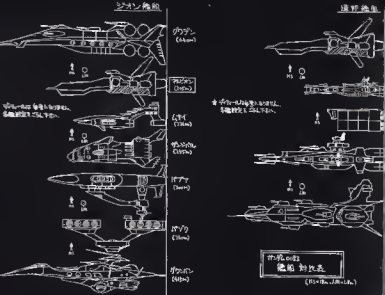
ラインバック [LINEBACK] 移送中のコロニー近辺での任務中に連絡を断った哨戒艇の確証に出動したMS部隊のコードネーム。コロニージャックしたシマ艦隊に撃破される。

冷却ファイヤー [COOLING LINE]

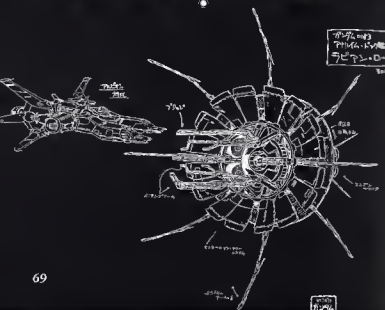
ノズルの内腔材。噴射によってノズルが過熱過熱するのを防ぐ。

レッドアウト [Red Out]

強烈な重力によって眼球中の血液が逆流し視界が赤く染まること。バニングは、最近この症状に苦しめられていた。ロカライザー [LOCALIZER] ある濃縮コース (アルビジョンの場合) に対して、水平位置の情報指示を与えるビーコン。



0083 設定資料大図鑑

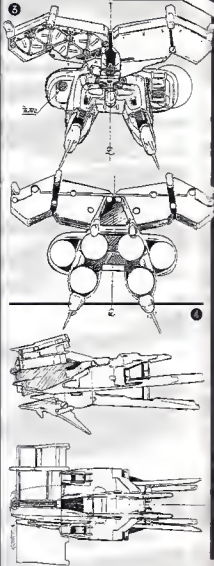


ガンダム試作3号機

RX-78GP03

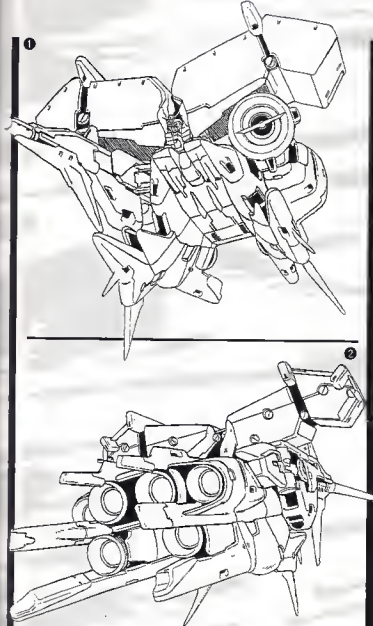
汎用性の高いMSの利点と、攻撃力の高いMAの利点を兼ね備えた機動兵器というコンセプトのもとに宇宙空間における拠点防衛用としてアナハイム社で開発されたガンダム試作3号機。ガンダム・タイプのMS部（ステイメン）と、重武装とMSの携帯武器を収納したコンテナ部を備えたアームドベース（オーキス）によって構成されている。

- ①フロント・ビュー
（1フィールド稼動時）
- ②リア・ビュー
- ③正面&後面図
- ④側面&上面図



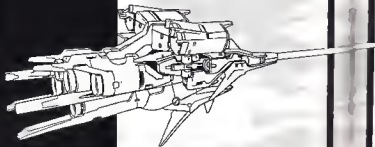
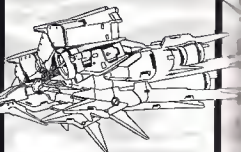
RX-78GP03 SPEC

全長/140.0m(砲含まず/13.0m) 全高/38.5m 全幅/62.0m 自重/226.4t
 総重量/463.1t ジェネレーター
 出力/389000W 主スラスター推力/37150kg×6、主武装/メガ・ビーム砲×1、大型ビームサーベル×2、1フィールド・ジェネレーター、ビームライフル、バズーカ、爆弾索、ミサイルポッド、その他

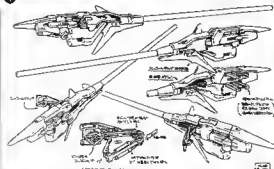


- ①クロー展開形態
- ②背部
- ③サイド・ビュウ
- ④メガビーム砲

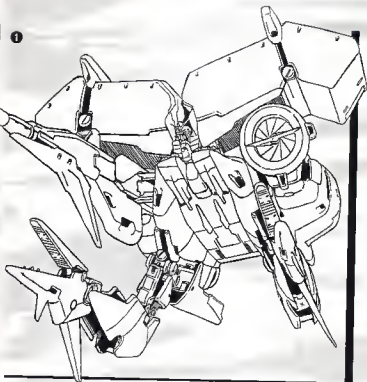
③



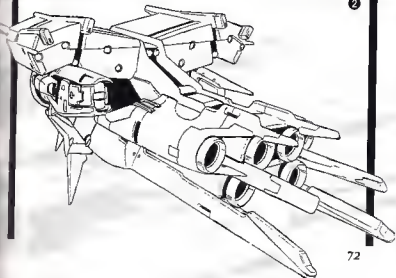
④



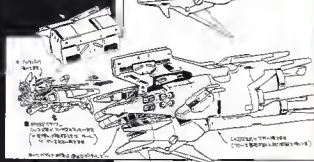
①



②



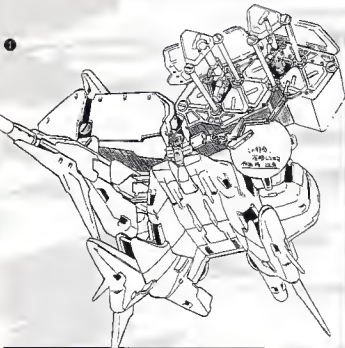
- ①コンテナ開閉図
- ②ウェポンコンテナギミック
- ③ウェポン例
- ④合体構造
- ⑤ステイメン分離手順



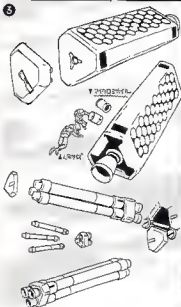
⑥



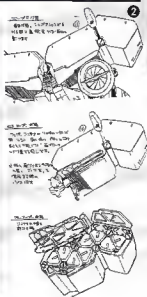
⑦



⑧



⑨



ガンダム試作3号機 ステイメン

RX-78GP03S

ガンダム試作3号機を構成するMSユニットをステイメンと呼ぶ。1、2号機と違い、あくまで宇宙戦闘を考えて開発され、テールバンダーによって高い機動性を獲得している。また、アームドベースのコンテナに格納された武器を引き出すためクロー状に変形する腕を備えている。

- ①フロント・ビュー
- ②胸部
- ③コクピット
- ④コクピットハッチ
- ⑤リア・ビュー

RX-78GP03S SPEC

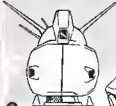
全高/18.0m 自重/11.6t 総重量/70.0t 180度旋回速度/0.8sec ジェネレーター出力/20000W 主スラスター推力/42000kg×2、40000kg×2、12000kg×2 主武装/ビームサーベル×2、ビームライフル×2、バズーカ、その他



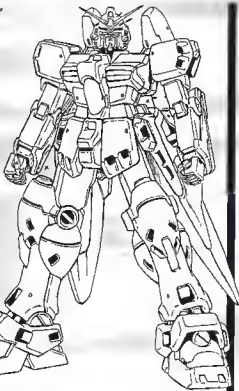
①



⑤



②



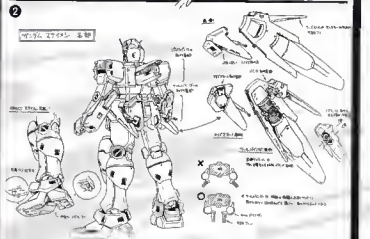
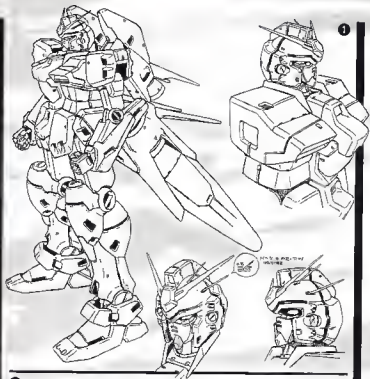
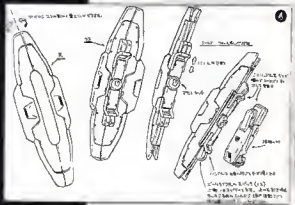
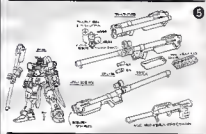
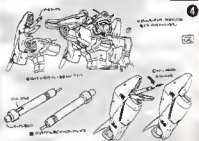
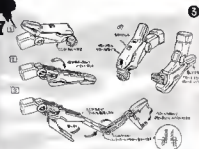
③



④

GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

- ① 細部ディテール
- ② 腰部テールハインダー
- ③ 胸部クロー展開ギミック
- ④ ビームサーベル
- ⑤ フォールディング・バズーカ
- ⑥ フォールディング・シールド

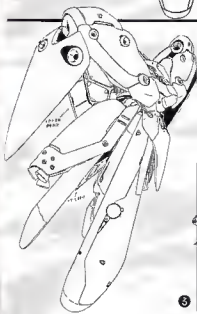
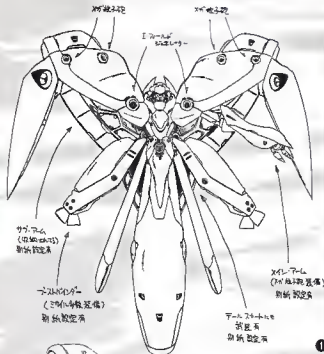
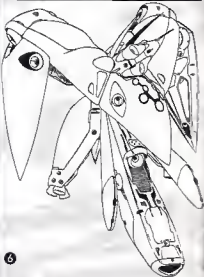
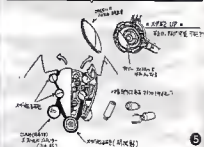
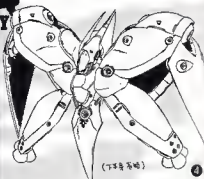


ノイエ・ジール

AMA-X2

地球圏を離脱し小惑星に隠れていたジオン残党の“アクシズ”が開発した試作M.A.。宇宙空間での戦闘を追求して開発されたため、脚部は取り除かれた。オールレンジ攻撃が可能だが、パイロットへの負担はかなり大きい。ジオン再興という同じ目的のもとデラーズ軍に譲渡された。

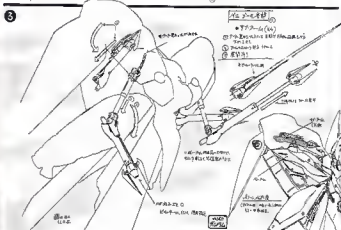
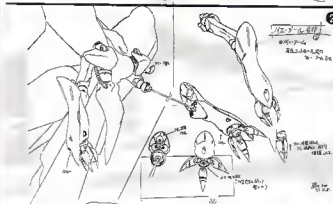
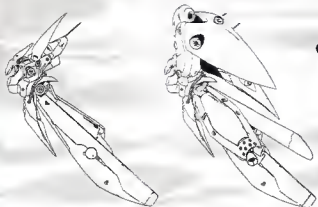
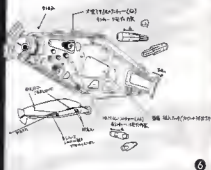
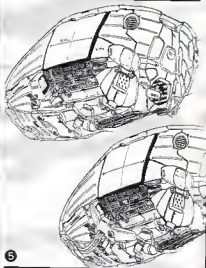
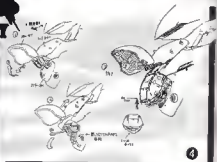
- ①フロント・ビュー
- ②頭部
- ③サイド・ビュー
- ④機体上部
- ⑤テールスカードの武装
- ⑥リア・ビュー



AMX-002(AMA-X2) SPEC

全高/全幅 73.6m 自重/198.0t
総重量/423.5t ジェネレータ出力/75700kW
主スラスター推力/756000kg×1、125600kg×11、20420kg×1
主武装/メガ・カノン砲、偏向メガ粒子砲×3、荷電クローム・アーム×2、メガ粒子砲×6、大型ミサイルランチャー×24、1フィールド・ジェネレーター×4

- ①サイド・ビュウ
- ②腕部
- ③サブ・アーム
- ④コクピット・ハッチ
- ⑤コクピット
- ⑥ブーストバインダー

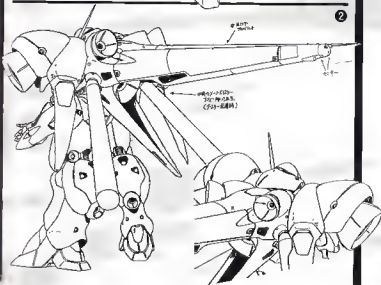
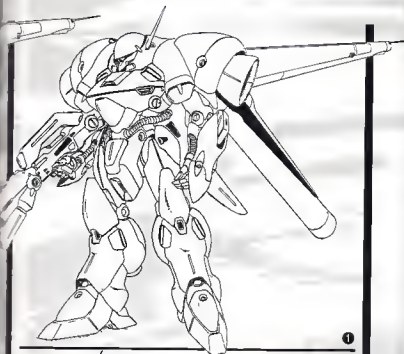
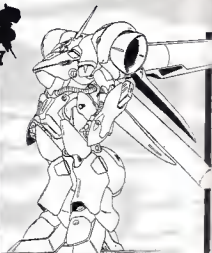


ガーベラ・テトラ

AGX-04

この機体はガンダム開発計画の候補案のひとつで、いわばガンダム試作4号機として開発が進められていたMSである。2号機同様のスタッフには旧ジオニック社の技術者が多数かかわっていたらしく、ガンダムとは懸け離れた形状となっている。アナハイム社との密約によって、デラース軍に譲渡された。

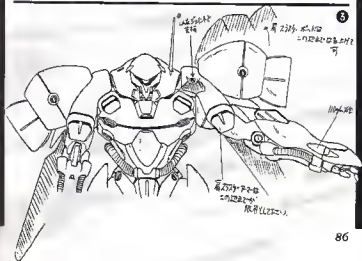
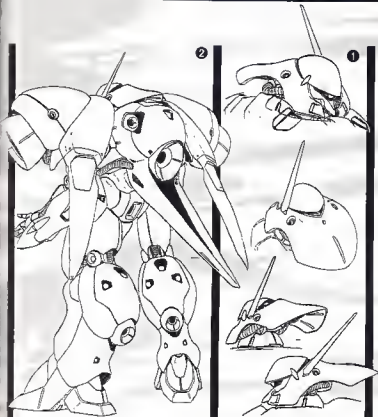
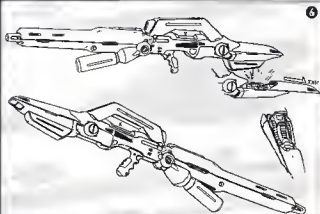
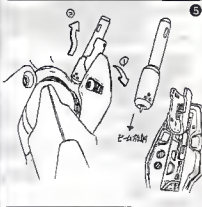
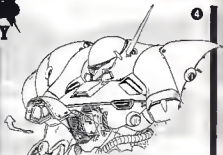
- ①フロント・ビュー
- ②リア・ビュー
- ③サイド・ビュー
- ④ブースター・イジェクトパターン



AGX-04 SPEC

全高/18.0m 全重/65.7t (83.5t)
総重量/73.2t (86.0t) 180度姿勢変換
/0.5sec ジェネレーター 出力/1710W
主スラスター 推力/5600kg×2, 5000
kg×1, 1350kg×4 (5600kg×2, 5000
kg×3, 1350kg×4) 主武装/110mm機
関砲×4、ビームサーベル×2、ビームマ
シンガン ※ 内はシエツルム・ブースタ
ー装填時

- ①頭部
- ②リア・ビュー
- ③スラスターボッド可動例
- ④コクピットハッチ
- ⑤ビームサーベルラック
- ⑥ビームマシンガン



ガンダム試作1号機

RX-78GP01-Fb

月面のアナハイム工場で作
面仕様となったガンダム試
作1号機は、コンペイ島宙域で
宿敵ガトーの駆るガンダム試
作2号機とついに対決する。
核弾頭を発射した後のガンダ
ム2号機との戦跡において、
リミッターを切ったビームサ
ーベルの前に、無残な姿に切
り刻まれていく。

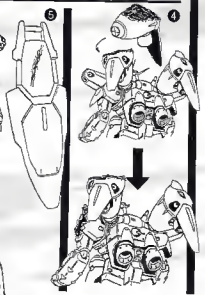
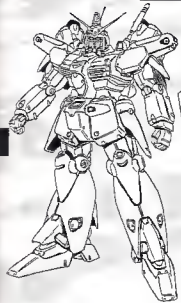
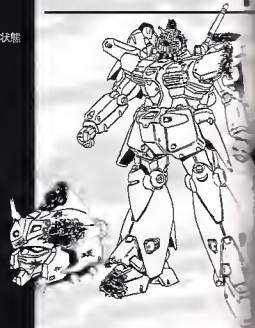
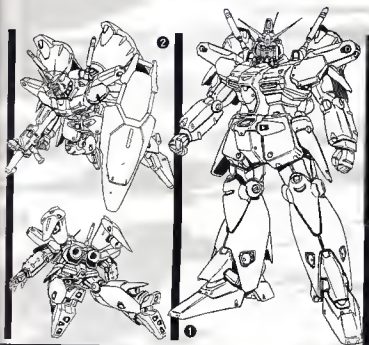
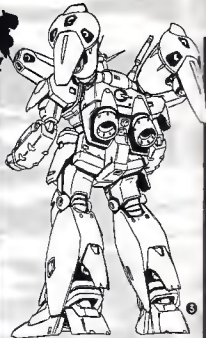
①フロント・ビュー

②アクション

③リア・ビュー

④バックバックの破壊状態

⑤機体破損状態



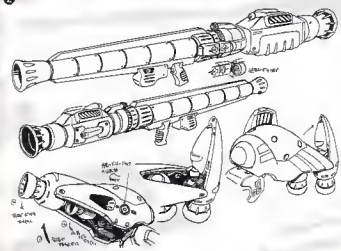
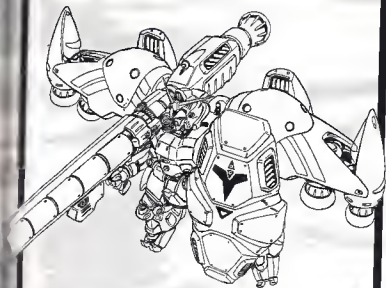
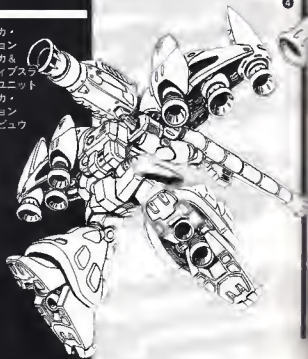
ガンダム試作2号機

RX-78GP02A

ガンダム試作2号機の最大の特徴は、核弾頭の発射可能なバズーカ砲である。基部はバックパックに接続されており、砲身は冷却装置内蔵のシールド裏面に装備されている。またバックパックに推進装置を装備できないため、両肩にアクティブスラスタユニットを装備している。



- ①バズーカ・アクション
- ②バズーカ&アクティブスラスタユニット
- ③バズーカ・アクション
- ④リア・ビュウ



ガンダム試作2号機

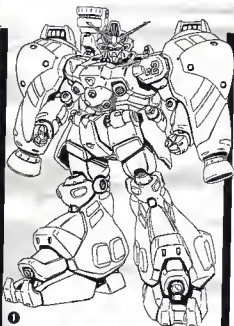
RX-78GP02A

「星の屑作戦」の一環として地球連邦軍の試験用に核弾頭を打ち込んだガンダム2号機は、帰還中にガンダム1号機と遭遇、戦闘に突入する。バズーカを使いきりノリルン砲とビームサーベルだけで1号機を迎え撃つ2号機。コウとガトーの因縁の戦いは激戦のすえ相打ちとなった。

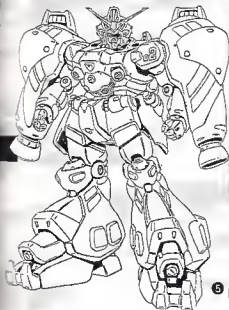
- ①フロント・ビュウ
- ②顔部
- ③リア・ビュウ
- ④頭部破壊状態
- ⑤機体破壊状態



③



①



⑤

④

ジム・改

RGM-79C

1年戦争後に出現したジムのバリエーション機のひとつ。機体各部の改修によって、1年戦争当時の機体よりも数段パワーアップしている。

- ①フロント・ビュウ
- ②ビームサーベル
- ③バックパック
- ④リア・ビュウ

ジム・カスタム

RGM-79N

エース級のパイロットに優先的に配備されたジムのカスタム機。ジェネレーターやアポシモーターの強化を施され、各性能が向上している。

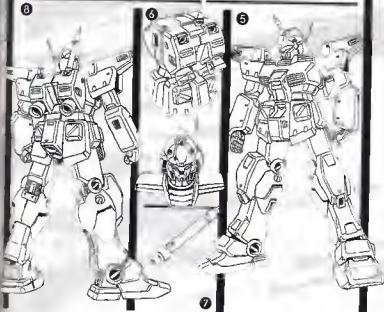
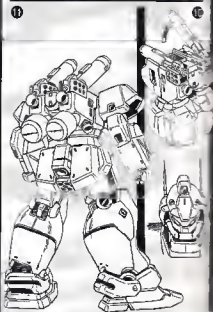
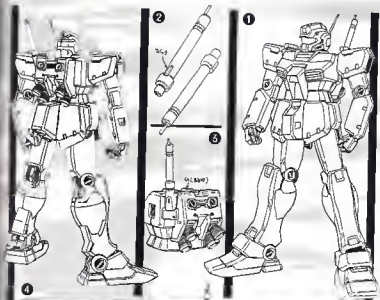
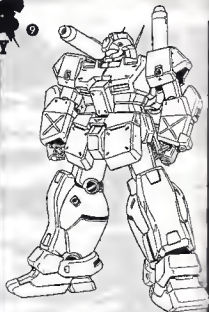
- ⑤フロント・ビュウ
- ⑥バックパックと頭部
- ⑦ビームサーベル
- ⑧リア・ビュウ

ジム・キャンノンⅡ

RGC-83

RX-77Dの機体データをもとに完成された中距離支援型のMS。両肩のキャンノン砲はビーム・タイプに変わっている。

- ⑨フロント・ビュウ
- ⑩キャンノン&頭部
- ⑪リア・ビュウ

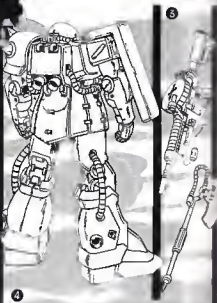


ザクⅡ

MS-06FⅡ

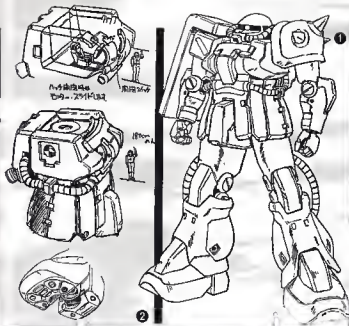
機体の軽量化とジェネレーター出力の向上を目的に、量産機でMS-06FザクⅡを改修した機体。しかし、ほどなく終戦を迎え、年戦争終戦協定締結後、武装解除に合わせて多くの機体が連邦軍に没収され、そのまま使用されたケースが多い。

- ①フロント・ビュー
- ②胸部・脚部
- ③マシンガン&ヒートホーク
- ④リア・ビュー



④

③



②

①

リック・ドムⅡ

MS-09RⅡ

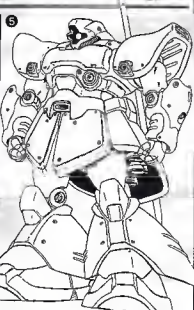
1年戦争中期以降に開発されたMS-09Rリック・ドムは、ジオン軍の宇宙戦主力MSとして大量生産された機体で、それぞれの局地戦主力MSとして大量生産された機体で、それぞれの状況に応じた改良機も多く生産されてきた。このリック・ドムⅡもその1機で、プロベラントの増設やスラスターの追加によって性能がかなり向上している。



⑦



⑥



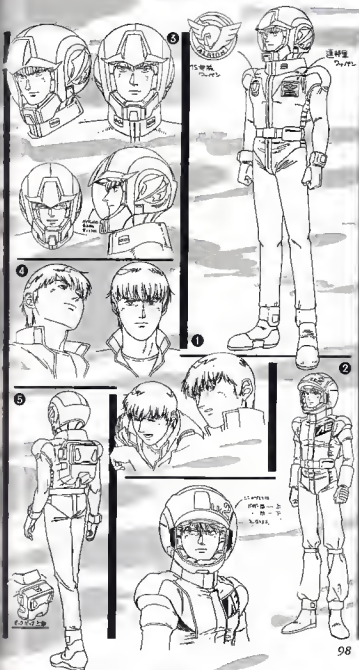
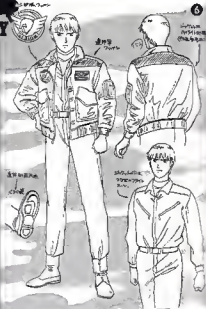
⑤

- ⑤フロント・ビュー
- ⑥胸部・脚部
- ⑦リア・ビュー

コウ・ウラキ 地球連邦軍中尉

ガンダム1号機を駆る連邦軍の中尉コウ・ウラキも、戦いの中で次第に成長していった。オーストラリアのトリントン基地でのテストパイロット時代は、ただメカニックが好きな少年という感じだったが、ニナとの出会いやガトーに受けた屈辱によって少年から大人の顔へと変わっていく。

- ① ノーマルスーツ
- ② アナハイム
テストパイロットスーツ
- ③ ヘルメット
- ④ 表情集
- ⑤ 後姿
- ⑥ フライトジャケット



KOU·URAKI

アルファ・A・バイト 地球連邦軍大尉

バニング大尉のもと、アルビオンMS部隊の中核をなしていたアルファ・A・バイトも、バニングの戦死によって大尉となる。MS部隊の指揮を任されるようになる。それまではモンシアとともに多少のわるふざけをみせていた彼も、バニングの意思を継いで立派に部隊をまとめている。

- ① ノーマルスーツ・前
- ② ヘルメット
- ③ アクション
- ④ ノーマルスーツ・後
- ⑤ 表情集
- ⑥ フライトジャケット



ナカッハ・ナカト少佐 401警戒中隊

連邦軍の上層部に命じられ、
ラビアンローズでアルビオン
を得ち構えていた連邦軍少佐
GP03の受け渡しを拒み、
乗込もうとしていたコウに銃
を向け、かばったルセットを
射殺してしまう。地球の危機
よりも書類上の命令を優先す
るという融通の効かない無能
な軍人。

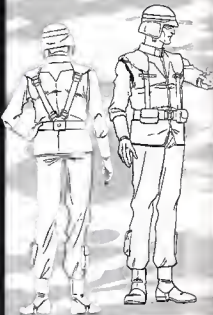
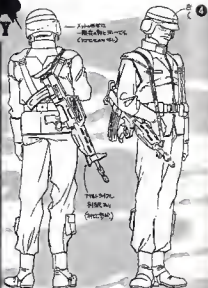
- ① 前姿
- ② 表情集
- ③ 後姿
- ④ ナカト少佐の部下

アルビオンの医務官

アルビオンに乗船している
医務官。患者の対象である乗
組員と、親密になって治療を
行なおうとする。艦長のボト
ルは彼が管理している。

- ⑤ 前姿
- ⑥ 前、後姿
- ⑦ 表情集

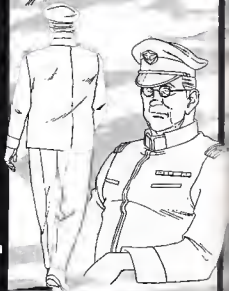
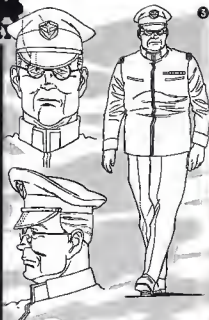
NAKOHKA NAKATO



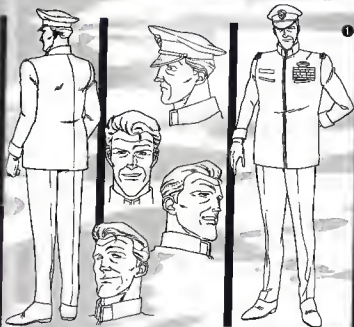
地球連邦軍の軍人

あいも変わらず頭の硬い連邦軍の軍人たち。親聞官のワイアット大將はダラーズ・フリートを完全に見下し、ガンダム2号機の核弾頭の前に敵り、旗艦バーミンガムの艦長も同じ運命をたどる。コンベイトウ基地司令は核弾頭の被害は免れたものの、アルビオンを軽視している。

- ①グリーン・ワイアット大將
- ②バーミンガムの艦長
- ③コンベイトウ基地司令
ステファン・ヘボン少將



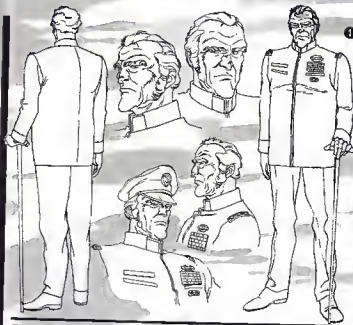
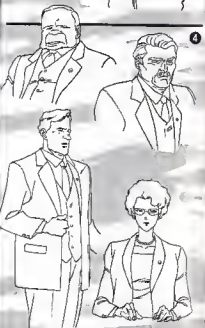
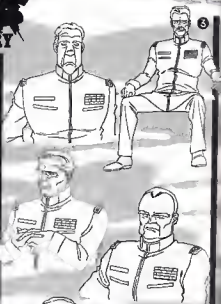
GREEN WYATT
STEPHANE HEPBURN



連邦軍の軍人、高官

地球連邦軍の高官たちは、デラーズ・フリートのコロニー落とすについて形式上の対策会議しか開こうとしない。また、ジオンの残党の一部であるアクシスの存在を簡単に認めてしまう。さらに、軍最高位の提督は戦いの内通者と組んで策謀をめぐらせる。

- ①地球連邦軍・提督
- ②宇宙艦隊・参謀
- ③連邦軍の将軍たち
- ④連邦政府高官



カリウス軍曹

かつてガトーが「ソロモンの悪夢」と恐れられていた頃からその部下として仕えていた軍曹。「星の屑作戦」参加のためにやってきた。

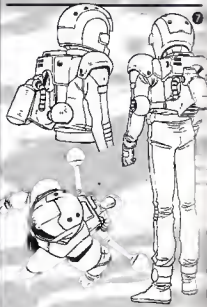
- ①前姿
- ②表情集
- ③後姿



グワデン艦長

エギーユ・デラーズの乗るデラーズ・フリートの旗艦、グワジン級戦艦、グワデンの艦長。

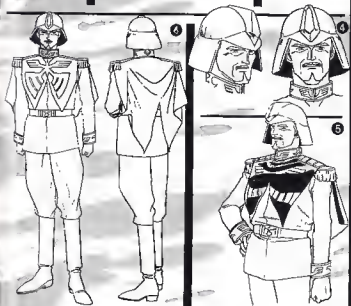
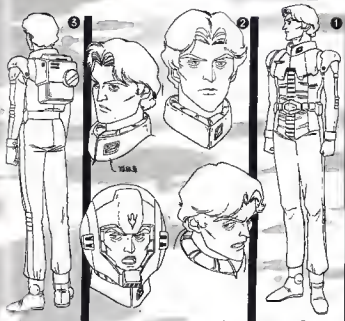
- ④表情集
- ⑤コスチューム
- ⑥前、後姿



ユーリー・ハスター少将 グワンザン艦長

デラーズ・フリートと同じくかつてのジオンの残党。アクシズの先遣艦隊の旗艦、グワンザンの艦長。デラーズと顔見知りらしい。

- ⑦ジオン・ノーマルスーツ用ランドムーバー

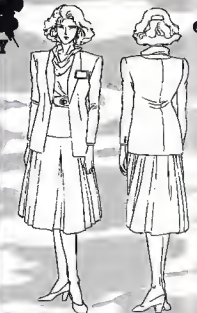


クレナ・ハクセル

ラビアン・ローズ所長

アナハイム社所有の巨大ドック艦、ラビアンローズの女所長。アルビオンのクルーに対しては友好的な態度を取っているが、連邦軍の士官、ナカト少佐の言動には逆らえない。

- ① コスチューム
- ② 表情集
- ③ 前 & 後姿



ルセット・オデビー

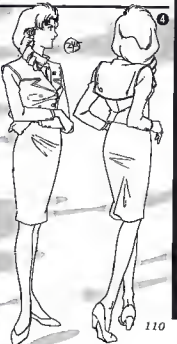
アナハイム社システムエンジニア

ラビアンローズでガンダム試作3号機の開発を担当していたアナハイム社のシステムエンジニア。ニナ・ハーブルトンの古き友人で、彼女の過去を知っている女性。コウにガンダム試作3号機を託す。

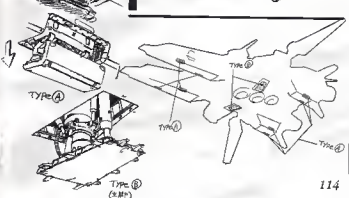
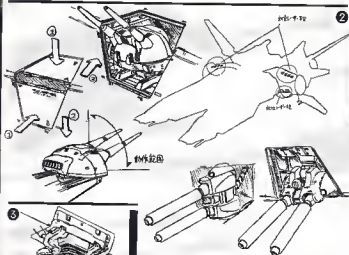
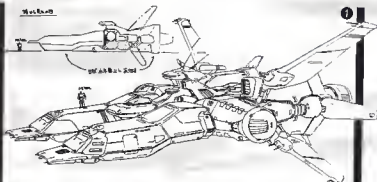
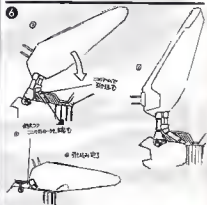
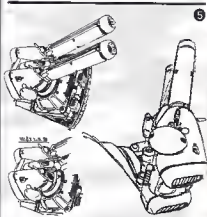
- ④ 前 & 後姿
- ⑤ コスチューム
- ⑥ 表情集



CLEHNA・HACSWELL
LUCETTE・AUDEVÉE

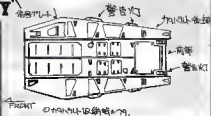


- ①サイド・ビュウ
- ②レーザー砲
- ③橋脚部
- ④ブリッジ
- ⑤メカ粒子砲
- ⑥放熱翼

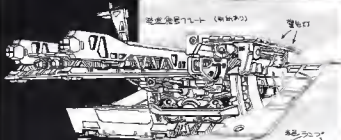


GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

- ①右舷MSカタバルト
- ②左舷MSカタバルト
- ③カタバルト・前後バース
- ④MS着艦ハッチ



カタバルト収納庫内



カタバルト 前部

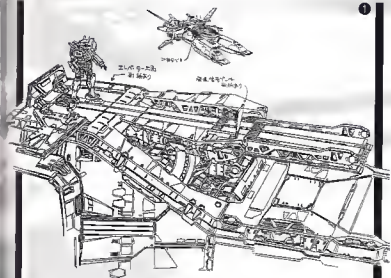


警告灯UP時

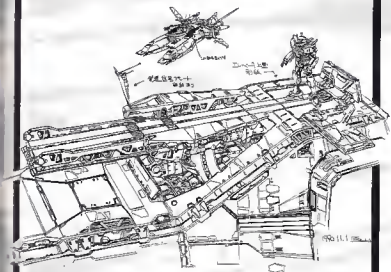


警告灯UP時

5



2

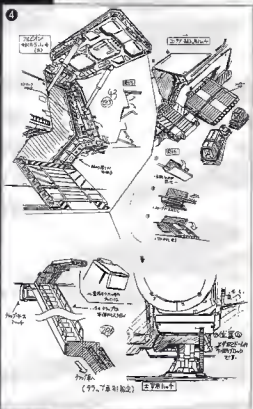
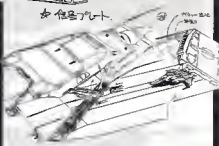


1

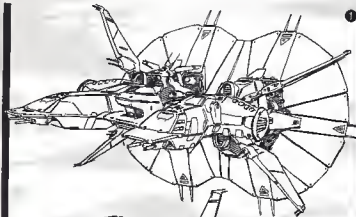
- ①レーザー・ロケット推進システム
- ②受光ミラー展開図
- ③コアファイターデッキハッチ
- ④アルビオン各部ハッチ



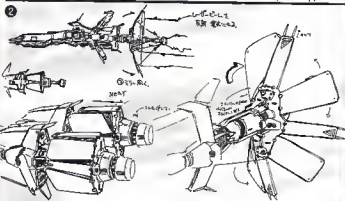
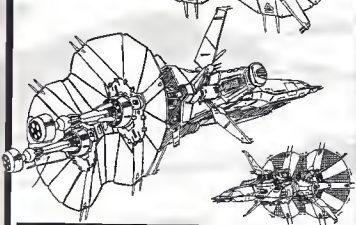
☆ 伝導プレート



⑤



①

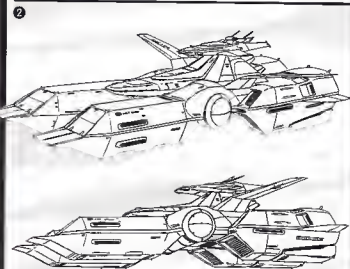
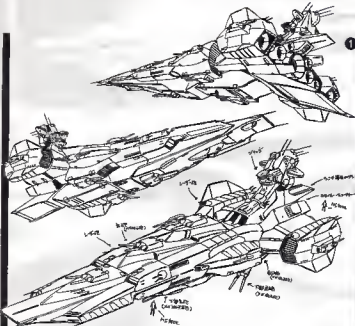
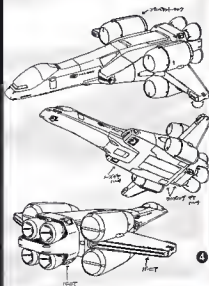
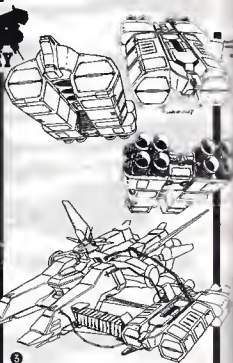


②

地球連邦軍の艦船

コンペイ島（かつてのソロモン）において行なわれた、艦艇式に参加した地球連邦宇宙艦隊の旗艦バーミンガム。同じく艦艇式のためにコンペイ島におもむいたベガス級軍艦。アルビオンの補給をおこなった輸送艦コロンプス改。ソロモン海付近を偵察していた哨戒機。

- ①旗艦バーミンガム
- ②ベガス級・軍艦
- ③輸送艦コロンプス改
- ④哨戒機

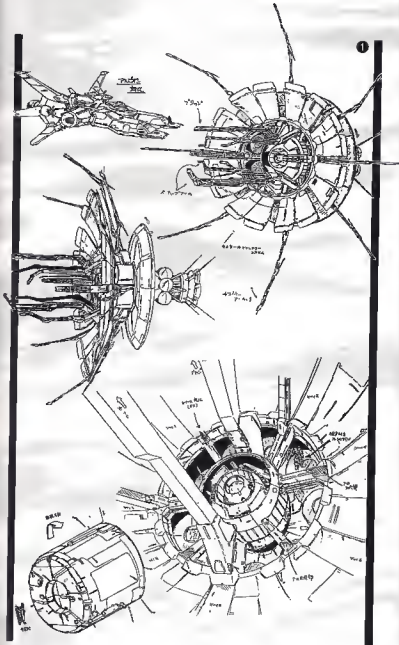
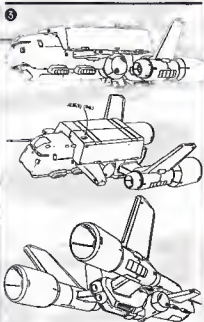
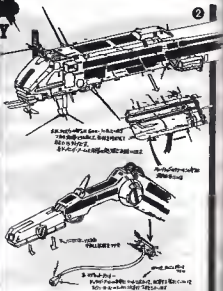


ラビアンローズ アナハイム・ドック艦

アナハイム・エレクトロニクス社が所有している巨大ドック艦。バラの花に似た船体と、花弁を思わせるドッキング・アームから構成されている。重力下テストの必要がなかったガンダム試作3号機を運んでいた。

コロニー公社の監視艇は輸送コロニーを護衛していた。

- ①全景
- ②メイン・ブリッジ
／ドッキング・アーム
- ③コロニー公社の監視艇

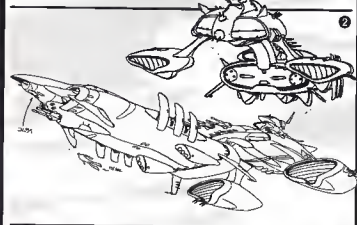
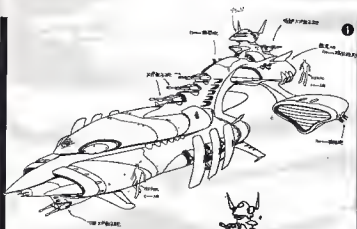
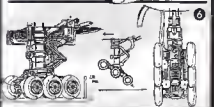


ムサイ(後期型)

デラズ・フリート巡洋艦

かつて、ジオン軍の艦隊の中核をなしていた巡洋艦の改良型。当然のごとくデラズ・フリート艦隊でも中心的な艦船となっている。搭載できるMSの数が増えているなど初期のタイプよりは性能が向上している。また、大気圏突入用の小型カプセル“コムサイ”も新しくなっている。

- ①全景
- ②下面、後方図
- ③後方バース
- ④コムサイ（ブースター付）
- ⑤コクピット&ガリング砲
- ⑥コムサイ・ランディングギア



リリー・マルレーン

サンジバル級機動巡洋艦

ムサイと同じく、かつてのジオン軍が使用していた機動巡洋艦。ムサイと違い、独自の大気圏突入能力を持っている。(脱出の場合はブースターを必要とする)。主砲はメガ粒子砲に改良され、シー・ガラハウ中佐の率いる艦隊の旗艦である。



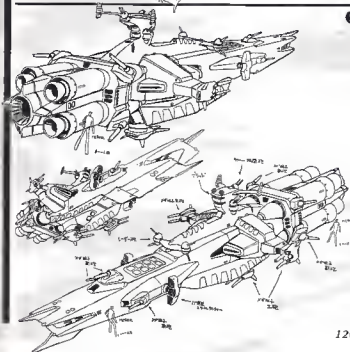
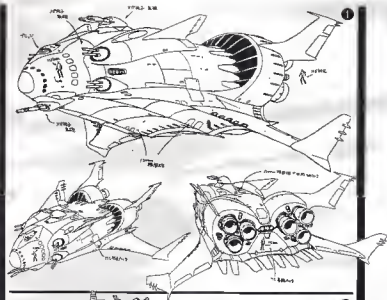
サラミス級巡洋艦

地球連邦軍の宇宙艦隊の中核をなしている巡洋艦。1年戦争時に活躍していたものよりは攻撃力、防衛力ともに向上している。しかし、やはりMS相手の戦艦では苦戦をしいられる。



中型輸送機ミデア

地球連邦軍所有の中型輸送機。1年戦争後期に登場した改良型タイプで、以前のものに比べて輸送能力が一段と向上している。オー・ダイ・スリガでアルビオンに補充要員とMSを運んできた。

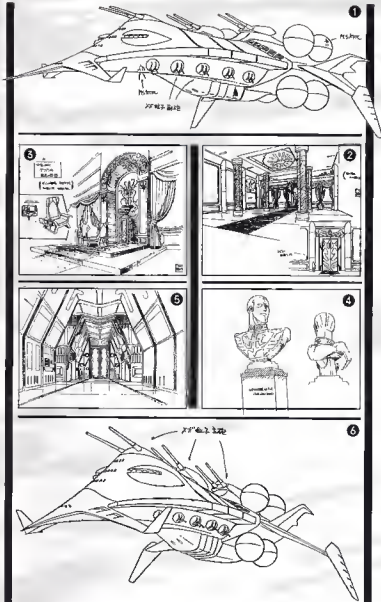
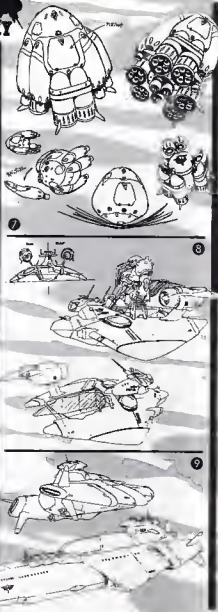


グワデン

デラーズ・フリート旗艦

デラーズ・フリートの旗艦で、総帥エギーユ・デラーズが乗艦しているグワジン級の戦艦。1年戦争時は艦隊の旗艦に使用されていた戦艦で、ザビ家ゆかりの者や、それに準じるものが艦の責任者になってきた。艦内の観見室にはギレン・ザビの像が飾られている。

- ①側面バース
- ②観見の間
- ③観見の間
- ④ギレン・ザビの胸像
- ⑤観見の間・通路
- ⑥前面バース
- ⑦H L V
- ⑧MS現陸用ホバークラフト
- ⑨ユーコン級潜水艦

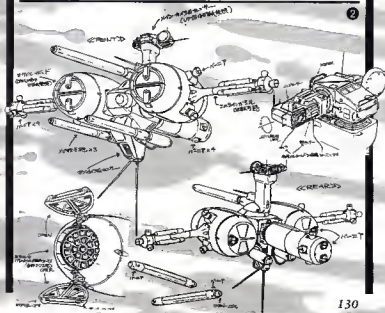
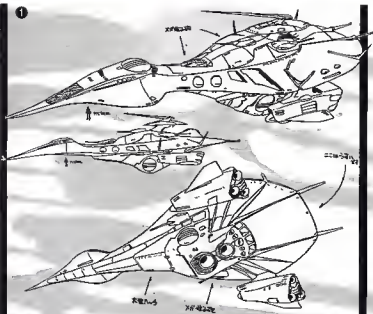
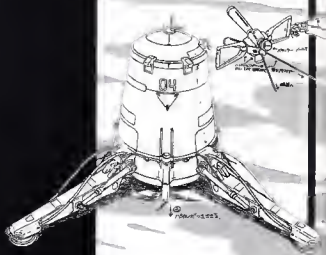
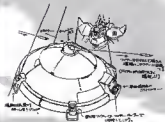
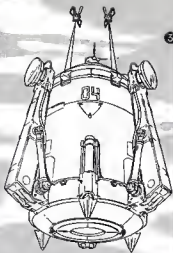


グワンサン

アクシス先遣艦隊旗艦

デラーズ・フリートに接触するために地球圏にやってきた旧ジオン軍の残党。アクシス先遣艦隊の旗艦。旧ジオン軍で活躍した戦艦グワンシンをベースにアクシスが造り上げた大型戦艦。後に出現するハマーン・カーンの旗艦、グワンパンの同型艦。

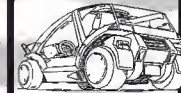
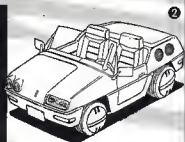
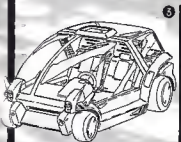
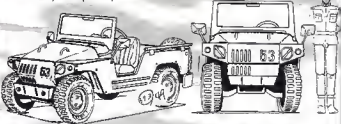
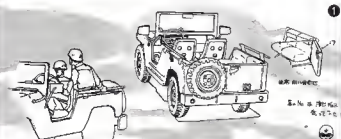
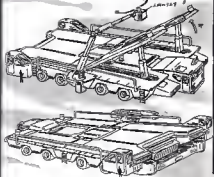
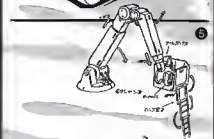
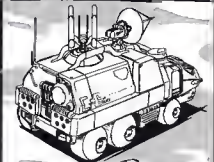
- ①全景
- ②防空用軌跡衛星
- ③コロニーミラー爆破用爆薬



地球連邦軍の車両関係

オーストラリアのトリントン基地で使用されていた地上車両と、月面で登場したエレカ。基地内の移動手段に使われていた軍用ジープに、戦闘時の指揮車に使われるコマンド・ビークル。そしてMS運搬用のトレーラー。エレカは、ニナやモータたちが月でコウの捜索に使っていたもの。

- ①軍用ジープ
- ②エレカ
- ③エレカ
- ④コマンド・ビークル
- ⑤MSトレーラー



形式番号	名称 (愛称)	表記
GNM-78SP	ジムスナイパーII	GN SWIPER II
GNM-86R	ジムIII	GN III
GNM-88	シェガン	TEGAN
GNM-88A	STガン	STRATEGIC-THEMEP-TEGAN
GNM-89B	シェガン改	TEGAN CUSTOM
GNM-99I	シェガンノーマルタイプ	TEGAN NOMAI TYPE
GNM-99M	シェガンIタイプ	TEGAN B TYPE
GNM-99R	シェガンIIタイプ	TEGAN B TYPE
GNM-99S	スターク・シェガン	STAR-TEGAN
GNM-99U	シェガン重裝型	TEGAN HEAVYTYPE
GNM-99V	ロケットダムサード	D-GUNDAM THIRD
GNM-99W	ロケットダムフォース	D-GUNDAM FOURTH
GNM-99X	リ・ガズイ	RI-GZ
GNM-99Y	リ・ガズイ カスタム	RI-GZ CUSTOM
GNM-99Z	リック・ディアス	RIKK-DIAS
GNM-99AA	シュトルム・ディアス	SCHUTRUM-DIAS
GNM-99BB	ハイザック	HIZACK
GNM-99CC	ハイザック カスタム	HIZACK CUSTOM
GNM-99DD	マラサイ	MAKASAI
GNM-99EE	ガンバルディ	GAMBARDI
GNM-99FF	アイザック	EMAC ZACK
GNM-99GG	ゼク・アイン	ZERU-EINE
GNM-99HH	ゼク・ツヴァイ	ZERU-ZWEI
GNM-99II	バーザム	BARZAM
GNM-99JJ	ザクダイバー	ZARU-DYVER
GNM-99KK	ザクマリナー	ZARU-MARINER
GNM-99LL	ガンタンクII	GUNTANK II
GNM-99MM	プロトタイプリックディアス	PROT TYPE RIKK-DIAS
GNM-99NN	ガブスレイ	GABTRILEY
GNM-99OO	ハンブラビ	HAMBRABI
GNM-99PP	バイアラン	BIYALANT
GNM-99QQ	ガンダムMK-II	GUNDAM MK-II
GNM-99RR	ガンタンク	GUNTANK
GNM-99SS	ガンキャノンA	GUNCANNON A
GNM-99TT	ガンキャノン	GUNCANNON
GNM-99UU	ガンキャノン重裝型	GUNCANNON HEAVY GUSTON
GNM-99VV	ガンキャノンII	GUNCANNON II
GNM-99WW	ガンキャノン重裝型	GUNCANNON MASS-PROD TYPE
GNM-99XX	プロトタイプガンダム	GUNDAM
GNM-99YY	ガンダム	GUNDAM
GNM-99ZZ	G-3 ガンダム	G-3 GUNDAM
GNM-99AA	ガンダム4号機	4TH GUNDAM
GNM-99BB	ガンダム5号機	5TH GUNDAM
GNM-99CC	ガンダム6号機	6TH GUNDAM
GNM-99DD	ガンダム7号機	7TH GUNDAM
GNM-99EE	ガンダム試作1号機	GUNDAM ZEPHYRANTHES
GNM-99FF	ガンダム試作2号機フルバーニア	GUNDAM ZEPHYRANTHES Fullvernia
GNM-99GG	ガンダム試作3号機	GUNDAM ZEPHYRANTHES
GNM-99HH	ガンダム試作3号機 (MSユニット)	GUNDAM ZEPHYRANTHES MS Unit
GNM-99II	ガンダムアレックス	GUNDAM ALEX
GNM-99JJ	フルアーマーガンダムアレックス	GUNDAM FULL-ARMOR
GNM-99KK	ライトアーマー	LIGHT ARMOR
GNM-99LL	スタンダード	STANDARD
GNM-99MM	ダブルガンダム	2-GUNDAM
GNM-99NN	ダブルガンダム OFF装束型	2-GUNDAM DOUBLE-FIN-FANREL

形式番号	名称 (愛称)	表記
GNM-99PP	電撃機・ガンダム	MASS-PHD TYPE P BUNGMAN
GNM-99QQ	シムルネット・ガンダム	SHIMURNETTE-G
GNM-99RR	シムルネック R 44	SHIMURNECK R-44
GNM-99SS	マシン・E-S-E-R	MASSIN SE-H
GNM-99TT	シムルトレーナー	GM TRAINER
GNM-99UU	デモン・ゾン	DEM-AM-ZOH
GNM-99VV	デモン・ゲール	DEM-AM-GEI
GNM-99WW	エビル・エス	EBILMU-S
GNM-99XX	ヘルガ・ダラス	HERGA-DALAS
GNM-99YY	ヘルガ・キロス	HERGA-KINUS
GNM-99ZZ	ダミ・イルス	DAMI-ILUS
GNM-99AA	ビギナ・ギナ	VIGIN-A-GWNA
GNM-99BB	ラフレシア	LAFRESIA
GNM-99CC	プロトタイプB グン	PROT. TYPE B GUN
GNM-99DD	高機動型試作機	HIGH MOBILITY EXPERIMENT TYPE
GNM-99EE	プロトタイプドム	PROT. TYPE DOM
GNM-99FF	ドム トロピカルテストタイプ	DOM TROPICAL TEST TYPE
GNM-99GG	ザメル	XAMEL
GNM-99HH	オーキス	ARMED BASE ORCHIS
GNM-99II	シャクルズ	CRAZEL
GNM-99JJ	ペーヌ・ジャバー	PAIN-JABBER
GNM-99KK	ホビー・ハイザック	HOBBY HIZACK
GNM-99LL	メッド	MEDD
GNM-99MM	ズック	ZUCK
GNM-99NN	クォータースーツ	QUARTER SUIT
GNM-99OO	ザクヘッド	ZAKU HEAD
GNM-99PP	バグ	BUG
GNM-99QQ	コア・ブースター	CORE-BOOSTER
GNM-99RR	Gスカイ	G-SKY
GNM-99SS	Gアーマー	G-ARMOR
GNM-99TT	Gブル	G-BULL
GNM-99UU	Gファイター	G-FIGHTER
GNM-99VV	Gコア	G-CORE
GNM-99WW	Gボマー	G-BOMBER
GNM-99XX	Gクルーザーモード	G-CRUISER MODE
GNM-99YY	Gアタッカー	G-ATTACKER
GNM-99ZZ	スクウェル	SQUERE
GNM-99AA	バストライナー	BUSTER RIMMAR
GNM-99BB	ジュニアギビルスーツ	JUNIOR-MOBIL SUIT
GNM-99CC	メガバズ・カランチャー	MEGA BAZOOKA LAUNCHER
GNM-99DD	ミドルモビルスーツ	MIDQUE-MOBIL SUIT
GNM-99EE	キャトル	CATL
GNM-99FF	ゲゼ	GEZE
GNM-99GG	プチモビルスーツ	PETIT MOBIL SUIT
GNM-99HH	メガライダー	MEGA-RIDER
GNM-99II	コア・ファイター	CORE-FIGHTER
GNM-99JJ	コアトップ	CORE-TOP
GNM-99KK	コアベース	CORE-BASE
GNM-99LL	Gコアトレス	G-CORETRESS
GNM-99MM	コアファイターII	G-COREFIGHTER II
GNM-99NN	コアファイターII-Fb	G-COREFIGHTER II FULL FEEDBACK
GNM-99OO	コア・ファイター	CORE-FIGHTER
GNM-99PP	Gディフェンサー	G-DIFFENSER
GNM-99QQ	コア・ブースター	CORE-BOOSTER
GNM-99RR	リアア35 ドラネジ	LIAR35 DRANEJ-E

形式番号	名称 (愛称)	表記
MS-08R II	リック・ドム ツヴァイコロニー	RICK-DOOM ZWEI
MS-10	ペズン・ドワッジ	PEZUN DOWADGE
MS-11	アクトザク	ACTION ZAKU
MS-12	ギガン	GIGAN
MS-13	ガッシャ	GATSHA
MS-14	ゲルググ	GERGUG
MS-14b	高機動型ゲルググ(Ⅱ) 共鳴用機	RICH HIGHMOTION GELGUG
MS-14c	ゲルググキャノン	GERGUG CANNON
MS-14d	デザートゲルググ	DESERT GERGUG
MS-14e	ゲルググマリナー	GERGUG MARINE
MS-14F	ゲルググマリナー(シーマ用)	GERGUG MARINE
MS-14f	リブルグ	REBLUG
MS-14H	ゲルググライエーガー	GERGUG TIGER
MS-14S	ゲルググ(シャア専用機)	GERGUG
MS-15	ガン	GANN
MS-17	ガルバルディα	GARNALDY-α
MS-18E	タンプファー	KAMPEER
MS-21E	ドラッグツェ	DRA-C
MSA-0011	Sガンダム	S-GUNDAM
MSA-0011Bst	B・U装束型Sガンダム	S-GUNDAM WITH ROOSTER UNIT
MSA-0011EX	E・X・Sガンダム	EX-S GUNDAM
MSA-003	ネモ	MEMO
MSA-004R	ネモIII	MEMOIII
MSA-005	メタス	METASS
MSA-005S	メタス改	METASS CUSTOM
MSA-001	ネロ	NERO
MSA-007E	EWAOCネロ	EWAC NERO
MSA-007F	ネロレナター	NERO TRAINER
MSA-009-2	リック・ディアスII	RICK-DIASII
MSF-001	ガンダムMK-II	GUNDAM MK-II
MSK-005N	ガンキャノンディテクター	GUNCANNON-DETECTOR
MSK-00H	ディシジ	DIJEN
MSK-100S	陸戦用自式改	TYPE 100 LAND CUSTOM
MSM-02	水中実験機	AQUA EXPERIMENT TYPE
MSM-03	ゴック	GOKK
MSM-03-1	プロトタイプゴック	PROT TYPE GOKK
MSM-03C	ハイゴック	HY-GOKK
MSM-04	アコギ	ACOGY
MSM-04B	ジノック	ZINOK
MSM-04N	アングガイ	ANGUY
MSM-07	ズゴック	Z' GUN
MSM-07E	ズゴックE	ZUGEN-EXPERIMENT
MSM-07S	ズゴック(シャア専用機)	Z' GUN
MSM-0K	ゾゴック	ZOGOK
MSM-10	ゾック	ZOCK
MSM-01	サイコミュシステム高機動試験型	PSYCOMMU TEST HI-MOBILITY TYPE
MSM-02	ゾノング	ZONUNG
MSM-03	ヤクト・ドーガ(ギニュー用)	TACO-DUGA
MSM-03	ヤクト・ドーガ(ウェス用)	TACO-DUGA
MSM-04	ザザビー	SABABI
MSM-10H	一式	TYPE 100
MSM-14	バグ・ドローガ	BAGHI-DUGA
MSM-10B	一式改	TYPE 100 CUSTOM
MSM-10BS	機体色白式改	MSM-10B TYPE 100 CUSTOM
MS2-000	Zガンダム	Z-GUNDAM
MS2-000AI	ゼータプラスA型	ZETA-PLUS TYPE A

MS-06C1	ゼータプラスC型	ZETA-PLUS TYPE C
MS-06A2	Zガンダムプロトタイプ	Z-GUNDAM PROT TYPE
MS-06A2	Zガンダムプロトタイプ	Z-GUNDAM PROT TYPE
MS-06A3	Zガンダムプロトタイプ	Z-GUNDAM PROT TYPE
MS-061	機体色Zガンダム	MASS-PRO TYPE Z-GUNDAM
MS-064	ゼツツ	Z-LE
MS-065	プロトタイプZZガンダム	PROT TYPE ZZ GUNDAM
MS-070	アザガダム	ZZ-GUNDAM
MS-07100	強化型ZZガンダム	AMPHIBIOUS ZZ GUNDAM
MS-07113	機体色ZZガンダム	MASS-PRO TYPE ZZ GUNDAM
MS-100S10	オメガダムファースト	Q-GUNDAM FIRST
MS-100S16-2	Omegaダムセカンド	Q-GUNDAM SECOND
MS-104	アッシマー	ASSIMAR
MS-105-1	バウンドドック(ゲーツ用)	BOUND-DOC
MS-105-2	バウンドドック(ロザミア用)	BOUND-DOC
MS-105-3	バウンドドック(ジェルト用)	BOUND-DOC
MS-100	クイン・マンサ	QUIN-MANTRA
MS-122	サイコ・ドローガ	PSYCO-DUGA
MS-133	α・アジール	α-AZIEAU
MS-144	β・アジール	β-AZIEAU
MS-156F	RFザク	QUS-MOBILE ZAKU
MS-157F	RFザク	QUS-MOBILE GURF
MS-158F	RFドム	QUS-MOBILE GUN
MS-159FD	RFデザートドム	QUS-MOBILE DESERT DOM
MS-146E	RFゲルググ	QUS-MOBILE GELGUG
MS-146S	RFゲルググ(シャルル用)	QUS-MOBILE GERGUG
MS-160	ゲルズモビルF80	FORMULA-80
MSM-07NF	RFスゴック	QUS-MOBILE ZROCK
MSM-07	クラン・サム	GRANT-SAM
MS-005	キャプラン	GAPLANT
MS-013	ガンダムMK-V	GUNDAM MK-V
MS-18-1	パーフェクトガンダム	PERFECT GUNDAM
PMX-009	メッサーラ	MESSALA
PMX-001	パラス・アテネ	PALAS-ATHENE
PMX-002	ホリノーク・サマーン	HORINOK-SAMMANH
PMX-003	ジ・オ	THE-O
KAG-79	デタラジ	AQUA OM
KAG-79-61	水中用ガンダム	WATER PLOOF GUNDAM
KR-79	ボール	BALL
KRG-83	ジムキャノン	GM CANNON
KRG-83	ジム・キャノンII	GM CONQUER II
KRM-100	ヘビーガン	HEAVY-GUN
KRM-111	ハーティ・ガン	HARDY-GUN
KRM-179	ジムII(グリプス仕様)	GM II
KRM-79	パワードジム	POWERED GM
KRM-79	ジム	GM
KRM-79	陸戦用ジム	GM
KRM-79	デザートジム	DESERT GM
KRM-79C	ジム改	GM
KRM-79D	ジム寒冷地仕様	GM ALKAZARD TYPE
KRM-79E	ジムコマンド コロニー戦仕様	GM COMMAND
KRM-196S	ジムコマンド 宇宙戦仕様	GM COMMAND SPACE
KRM-791	ジムライナーアーマー	GM LIGHT ARMOR
KRM-79M	ジム・カスタム	GM CUSTOM
KRM-79R	ジムII	GM II
KRM-79SC	ジムスナイパーカスタム	GM SNIPER CUSTOM

形式番号	名称 (愛称)	表記
AGX-04	ガベラ・テトラ	TEKHA MA-TETRA
AMA-01X	シャムル・フィン	JAMRU-FIN
AMS-019	ギラ・ドーガ	GEARA-DUGA
AMS-019	ギラ・ドーガ(レズン用)	GEARA-DUGA
AMS-113	ギラ・ドーガ試作機	GEARA-DUGA HEAVY WEAPON TYPE
AMS-113S	ギラ・ドーガ改	GEARA-DUGA CUSTOM
AMS-120A	ギラ・ドーガ サイコミュ試験型	GEARA-DUGA PSYCOMMU TEST TYPE
AMA-02	ノイエ・シール	GIJIE ZHEI
AMX-003	ガザロ	GAZA O
AMX-003S	ガザロ改	GAZA O CUSTOM
AMX-004	キュベレイ	GURELEY
AMX-004-2	キュベレイMK-II	GURELEY Mk-II
AMX-004-3	キュベレイMK-II	GURELEY Mk-II
AMX-004S	重武装型キュベレイ	MASS-PGO TYPE GURELEY
AMX-006	ガザロ	GAZA O
AMX-001	ガザロ	GAZA O
AMA-008	ガ・ゾウム	GA-ZOWH
AMX-008H	ガ・ゾウム改	GA-ZOWH CUSTOM
AMX-009	ドラゼン	DRISSEIN
AMX-013	ズサ・タイン	ZASSA-GUNG
AMX-014	ドーベンウルフ	DOVEN-WOLF
AMX-015	グ・マルク	GYMALK
AMX-016	ガザウラ	GAZA-W
AMX-101	ガルスJ	GALLUSS-J
AMX-102	ズサ	ZSSA
AMX-102C	ズサカスタム(アニー専用)	ZSSA CUSTOM
AMX-103	ハンマ・ハンマ	HAMMA-HAMMA
AMX-104	バ・ジャジャ	B-TARIA
AMX-101	バフ	BANDU
AMX-109	カプセル	CAPULE
AMA-110	ザクII	ZAKU II
AMX-110C	ザクII後期型	ZAKU II LATTER TYPE
AMX-110S	ザクII改	ZAKU II CUSTOM
AMX-112L	ガズエル	GAZ-L
AMX-117G	ガズエル	GAZ-G
EMS-05	アッグ	AGG
F70	プロトタイプGキャノン	PROT TYPE G-CANNON
F70	G・キャノン	G-CANNON
F90	ガンダムF90	GUNDAM FORMULABO
F90A	F90アサルトタイプ	F90 ASSAULT TYPE
F90B	F90テストロイドタイプ	F90 TESTROIDE TYPE
F90H	F90ホバータイプ	F90 HOVER TYPE
F90M	F90マリンタイプ	F90 MARINE TYPE
F90P	F90プランジタイプ	F90 PLUNGE TYPE
F90S	F90サポートタイプ	F90 SUPPORT TYPE
F90V	F90ヴェスパータイプ	F90 V-S-P TYPE
F90 II	ガンダムF90 II	GUNDAM FORMULABO II
F90 II A	F90 II インテグレートタイプ	F90 II INTEGRITY TYPE
F90 II L	F90 II ロングレンジタイプ	F90 II LONGRANGE TYPE
F91	ガンダムF91	GUNDAM FORMULAST
FA-00TB III	フルアーマーガンダムMK-II	FULL-ARMOR GUNDAM Mk-II
FA-010	フルアーマーZガンダム	FULL-ARMOR ZZ GUNDAM
FA-010B	フルアーマーZ先行試作機	FAZZ
FA-010S	フルアーマーZ改	FULL-ARMOR TYPE 100 CUSTOM
FA-110	フルアーマーガンダムMK-II	FULL-ARMOR GUNDAM Mk-II
FA-76-1	フルアーマーガンダム	FULL-ARMOR GUNDAM

形式番号	名称 (愛称)	表記
GA-70-1	ヘビーガンダム	HEAVY GUNDAM
GA-70-2	フルアーマー-3号機	FULL ARMOR 1TH GUNDAM
GA-03 WWS	ガンダムHWS仕様型	GUNDAM HWSH SYSTEM GUNDAM
GA-70-3	重武装フルアーマーガンダム	HEAVY ARMOR 7TH GUNDAM
GA-170	スーパーガンダム	SUPER GUNDAM
GA-041	ザクレロ	ZAKURELLO
GA-05	ビグロ	BYGRO
GA-06	ヴァル・ヴァロ	VAL-VALO
GA-07	ビグダム	BIGDAM
GA-08	グッドフロ	GOODFLO
GA-09	ブラフ・プロ	BLAWPRO
GA-09	エルメス	ELMETIS
GA-03	アッザム	AZZUM
GA-001	プロトタイプサイコガンダム	PROT TYPE PSYCO GUNDAM
GA-003	サイコガンダム	PSYCO-GUNDAM
GA-010	サイコガンダムMK-II	PSYCO-GUNDAM Mk-II
GA-011	重武装サイコガンダム	MASS-PGO TYPE PSYCO GUNDAM
GA-04	プロトタイプザク	PROT TYPE ZAKU
MS-05	ザク	ZAKU I
MS-06	ザクII	ZAKU II
MS-06A	ザクII	ZAKU II
MS-06C	ザクII初期型	ZAKU II
MS-06D	サタデザートタイプ	ZAKU DESERT TYPE
MS-06E	デザートザク	DESERT ZAKU
MS-06EC	デザートザク ロンメルカスタム	DESERT ZAKU ROMMEL CUSTOM
MS-06F	ザク飛行機型	AIRCRAFT TYPE ZAKU
MS-06E-3	ザクフリッパー	ZAKU FLIPPERS
MS-06F	ザクII	ZAKU II
MS-06F2	ザクII	ZAKU II
MS-06FS	ザクII (ガルマ・ザビ専用機)	ZAKU II
MS-06F2	ザクII改	ZAKU FZ
MS-06F2	ザクII改Bタイプ	ZAKU FZ
MS-06J	ザクII 陸戦型	ZAKU II
MS-06K	ザクキャノン	ZAKU CANNON
MS-06M	ザク マリンタイプ	ZAKU MARINE TYPE
MS-06G-1M	高機動型ザク 量産型専用機	HIGH MOBILITY ZAKU
MS-06N-2	高機動型ザクII・只機専用機	HIGH MOBILITY ZAKU
MS-06G-3S	高機動型ザク	HIGH MOBILITY ZAKU
MS-06S	ザクII (シナ専用機)	ZAKU II
MS-06S	ザクII (ドズル・ザビ専用機)	ZAKU II
MS-06W	作戦用ザク	ZAKU WORKS
MS-06Z	サイコミュ試験型ザク	PSYCOMMU TEST TYPE ZAKU
MS-07R	グフ	GOUF
MS-07B	グフ(マクベ専用機)	GOUF
MS-07C-3	グフ重武装型	GOUF HEAVY TYPE
MS-07C-5	グフ試作機	GOUF EXPERIMENT TYPE
MS-07G	グフ飛行試作型	GOUF FLIGHT TEST TYPE
MS-07G-4	グフ飛行試験型	GOUF FLIGHT TEST TYPE
MS-09	ドム	DOM
MS-09F	ドム・フンフ	DOM-FUNT
MS-09F/TOP	ドム・トローパー	DOM TROOPER
MS-030	ドワッグ	DOWAGE
MS-030H	ドワッグ改	DOWAGE CUSTOM
MS-030A	リック・ドム	RICK-DOM
MS-030 II	リック・ドム ツヴァイ	RICK-DOM ZWEI

クレナ・ハクセル	30, 67, 110
グワデン艦長	108
コウ・ウラキ	27, 98
コンペイ島基地司令	104

サ行

サウス・バニング	28
シーマ・ガラハウ	31
ジャクリース・シモン	30
ジョン・コーウェン中尉	8, 64

タ行

チャック・キース	28
チャップ・アデル	29
デトローフ・コッセル	32

ナ行

ナカツハ・ナカト	102
ニナ・バーブルトン	27, 65

ハ行

バーミンガム艦長	104
ハマーン・カーン	32
ピーター・スコット	30
ペルナルド・モンシア	29

マ行

モラ・バシット	28
---------	----

ヤ行

ユーリー・ハスラー	108
-----------	-----

ラ行

ルセット・オデビー	30, 67, 110
達邦副提督	106

用語関係

1 フィールド	44
アラート勤務	44
アンノウン	44
ウィッシュボーン	44

HUD	44
エバリュエーションモニター	44
オーキス	44
オーバーロード	44
送り狼	44
強制開放	44
58MHz	44
コンパス	44
サイサリス	44
302哨戒中隊	50
受聞艦艇	50
ジュウテ	50
スコア	50
ステイメン	50
ゼフィランサス	50
戦時格級	50
第1軌道艦隊	50
第3軌道艦隊	50
デンドロビウム	50
トレンド	50
ナイメーヘン	50
ニンジン	68
バクタ	68
バルフィッシュ	68
ビケット	68
ピンクのガルグダ	68
ブレバーナー・バルブ	68
Mk.82	54, 66, 68
ミノフスキー干渉波	68
ラインバク1	68
冷却ライナー	68
レッドアウト	68
ロカライザー	68

MS大図鑑PART.7「デラース紛争編・下」

索引

●OVA「機動戦士ガンダム0088 STARDUST MEMORY」に登場した主要MS・MA及びキャラクター、宇宙艦、主要用語をアルファベット・50音順にまとめました。見出しの単語を選び、記されているページを見て下さい。その単語の解説、あるいは関連する事項がわかるようになっています。

MS & MA

AGX-04ガーベラ・テトラ	10, 23, 37, 48, 84, 86
AMA-X2ノイエ・ジール	10, 24, 37, 48, 80, 82
MS-06-F2ザクII	18, 37, 48, 96
MS-09RIIリック・ドムII	22, 37, 48, 96
MS-14FゲルググM	2, 21, 48
MS-14FsゲルググM指揮官用	2, 20, 48
MS-21CDラツェ	19, 48
RGC-83ジム・キャノン	2, 17, 46, 94
RGM-79Nジム・カスタム	2, 16, 35, 46, 94
RX-78GP01ガンダム試作1号機	65
RX-78GP01-Fbガンダム試作1号機	2, 4, 6, 14, 35, 46, 65, 88
RX-78GP02ガンダム試作2号機	4, 6, 15, 35, 46, 66, 90, 92
RX-78GP03ガンダム試作3号機	8, 10, 12, 35, 46, 67, 70, 72, 74, 76, 78

メカニック

アルビオン	2, 25, 112, 114, 116, 118
HLV	128
エレカ	132
グワジン級アクシズ先進艦隊戦艦グワンザン	130
グワジン級宇宙戦艦グワデン	26, 128
軍用ゾーブ	132
コアファイターII-Fb	25

コマンド・ビーグル	132
コムサイ	124
コロニー監視船	63
コロンプス改	120
サラミス級連邦軍宇宙巡洋艦	25, 126
ザンザバル級宇宙機動巡洋艦リリー・マルレーン	2, 26, 126
哨戒機	120
バーミンガム	2, 120
ベガキス級強襲揚陸艦	25, 120
防空用衛星	130
ミデア	126
ムサイ級宇宙巡洋艦	26, 124
ムサイ級宇宙巡洋艦シーマ艦隊仕様	2, 26
MSトローラー	132
MS陸用ホバークラフト	128
ユーコン	128
ラビアンローズ	120

キャラクター ア行

アクラム・ハリダ	30
アナベル・ガトー	31
アルビオンの医務官	102
アルファ・A・ペイト	29, 100
イワン・バサロフ	29
ウィリアム・モリス	30
ウィリィ・グラードル	32
宇宙艦隊参謀	106
エイパー・シナプス	28, 64
エギーユ・デラーズ	32
オキリバン部長	65

カ行

カリウス	108
グリーン・ワイアット	104